

令和6年度  
事業報告書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

# 令和6年度 事業報告

少子高齢化や世帯人員の減少、未婚化や価値観の多様化などを背景として、高齢者に限らず単身世帯が増加し、人と人とのつながりが希薄化しており、地域における福祉課題はますます複雑・多様化しています。複合的な課題を抱えながらも、制度の狭間で支援を必要としている人たちを支える包括的・総合的な支援策の展開がより一層求められています。

本会では、第6期地域福祉活動計画（令和3年度～令和8年度）において「つながりで“元気”“安心”なまちの実現」を目標に掲げ、弱い立場の人を排除ない地域共生社会の実現を目指して取組みを進めてまいりました。また、令和6年度は、現行の計画の中間年にあたることから中間評価を実施し、計画の進捗状況と計画後期に向けた見直しを行うとともに、下記の事業を重点的に取り組みました。

## 1. 南区若久の遺贈不動産活用検討

南区若久の遺贈不動産について、地域の福祉拠点として活用していくための検討を進めました。福祉拠点の名称は「五福の家～想いつながる みんなの居場所～」とし、ビジョンとして“誰一人取り残さない包摂的な地域共生社会の実現”を掲げ、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく地域共生社会を目指し、取組みを進めました。

## 2. 親なき後支援事業の推進

障がいやひきこもりなど、生きづらさを抱えている人の「親なき後にどう備えるか」という問題解決の一助として、「親なき後支援事業」に取り組み、事業の周知と市民からの相談に対応しました。相談の段階から丁寧に時間をかけ、親なき後の生活について共に考える姿勢で取り組みました。

## 3. 災害時の日頃からの備え

平常時からの備えをより強化するべく、福岡市と協働し、災害支援団体やNPO等との連携体制づくりに取り組みました。福岡県西方沖地震の発生から20年にあたる今年度は、企業や大学と新たに協定を締結したほか、協定を締結している団体と情報交換会を開催し、平常時からの連携強化に努めました。

そのほか、空家の活用や、終活をはじめとする権利擁護支援体制の強化等の実践を積み重ねていく中で、多くのメディアに本会の実践を取り上げていただき、広く発信することができました。

令和6年度の主な実施事業は、次のとおりです。

【重点項目】	頁
<b>1. 住民主体の小地域福祉活動の推進</b> . . . . .	<b>1</b>
(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化	
(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化	
(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進	
(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進	
(5) 多様な主体との連携・協働の推進	
<b>2. ボランティアによる社会参加の拡大</b> . . . . .	<b>6</b>
(1) ボランティアの参加や裾野の拡充	
(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発	
(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上	
(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え	
<b>3. 社会課題解決モデルの開発と拡充</b> . . . . .	<b>10</b>
(1) 地域の子どもプロジェクト（一部福岡市委託事業）	
(2) 買い物支援（一部福岡市委託事業）	
(3) 「終活」支援	
(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働	
(5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業（福岡市委託事業）	
(6) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究	
(7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり	
<b>4. 権利擁護事業の拡充</b> . . . . .	<b>17</b>
(1) 本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施	
(2) 成年後見推進センターの機能強化	
(3) 市民後見人の養成と活躍支援（福岡市委託事業）	
(4) 法人後見事業の推進	
(5) 親なき後支援事業の推進	
<b>5. 居住支援の推進と空家・空室の活用</b> . . . . .	<b>20</b>
(1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営	
(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）	
(3) 居住支援法人事業の実施	
(4) 制度の狭間を埋める分野横断的な役割の実践	
(5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」	
(6) 南区若久の遺贈不動産活用検討【新規】	
<b>6. 地域福祉を推進するための基盤づくり</b> . . . . .	<b>22</b>
(1) 個人情報保護と活用	
(2) 福祉教育の推進	
<b>7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化</b> . . . . .	<b>23</b>
(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成	
(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援	
(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化	
(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置	

## 重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和7年3月31日現在のもの。

### 1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

#### (1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、見守りマップの作成支援等を通じ平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを進めました。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成しました。

[実施自治会（町内会）率] 86.5%      [助成額] 19,038,718円

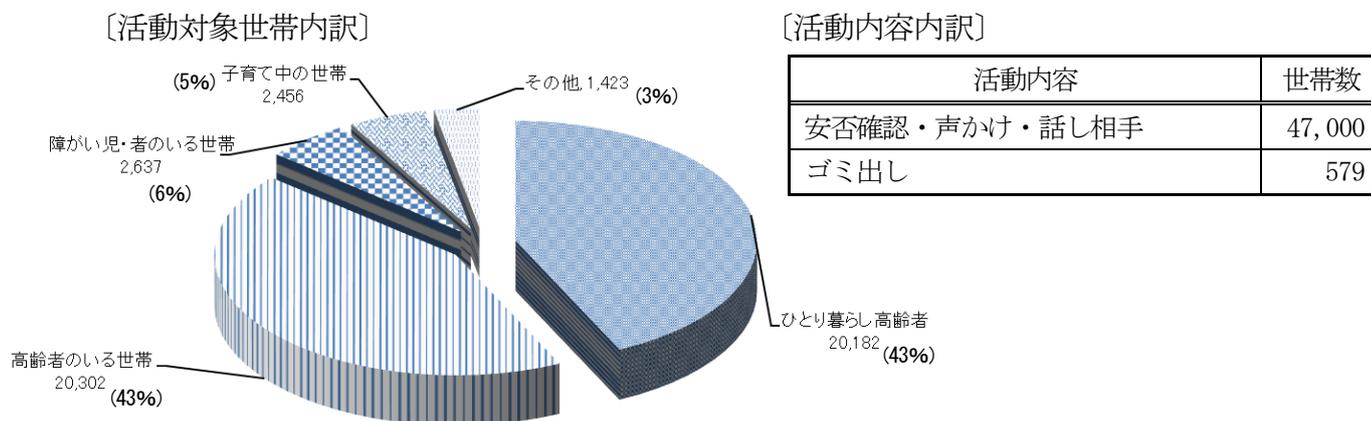
[活動状況]

( )は前年比の数値

区	校区数 <sup>※1</sup>	助成 校区数	助成 自治会数	対象世帯数	ボランティア数 (人)
東	30 (1)	27	378	9,624 (△106)	2,493 (△63)
博多	22	20	297 (△1)	5,111 (103)	1,547
中央	14	11	301 (△3)	7,443 (149)	808 (△51)
南	25	25	303 (△3)	7,816 (519)	2,175 (△7)
城南	11	11	147 (1)	3,139 (△413)	1,067 (△71)
早良	24	21	211 (△5)	5,502 (△176)	1,790 (△55)
西	25	23 (1)	175 (9)	8,365 (59)	1,510 (129)
合計	151 (1)	138 (1)	1,812 (△2)	47,000 (135)	11,390 (△118)

※1 博多区の博多校区、住吉校区、中央区の舞鶴校区は、旧校区数でカウント。

2校区で1つの校区社協を結成している東区の「勝馬・志賀島」、早良区の「内野・曲淵」は各1校区でカウント。



### ① ふれあいネットワーク研修会の実施

各校区の担当者・役員を対象に、つながり続ける取組みを支援するため、地域の実情に応じた研修会を実施しました。

〔実施状況〕

実施単位	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
区	1	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動要支援者名簿の活用</li> <li>見守りマップの作成、更新</li> <li>ふれあいネットワーク活動について など</li> </ul>
校区・町内	175	6,115	

### ② 新規立ち上げ支援事業の実施

年度途中で新規で見守りを開始する自治会・町内会に対し、活動費の助成を行いました。

〔助成状況〕

東区：3町内 各5,000円

## (2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者等のひきこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操等の活動を取り入れ、交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援しました。特に、地域の実情に応じたふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各校区での助成金活用を促進し、地域福祉活動の再開の支援を強化するため、「ふれあいサロン活動」の助成要件を緩和し、各事業の助成金申請書・報告書様式を一部簡素化することで地域の事務負担軽減を図り、令和6年度は過去最多となる412サロンに助成しました。

〔助成額〕 20,992,522円

〔活動状況〕

( )は前年比の数値

区	校区数 <sup>※1</sup>	助成校区数	助成箇所数	延べ実施回数(回)	延べ利用者数(人)	延べボランティア数(人)
東	30	25	78 (2)	1,271 (42)	15,950 (464)	8,692 (263)
博多	22	19	57	1,146 (56)	14,505 (1,117)	5,458 (△37)
中央	14	13 (1)	27 (2)	367 (21)	4,106 (△58)	2,441 (47)
南	25	23	42 (2)	705 (2)	8,532 (161)	4,831 (△30)
城南	11	10	48 (4)	693 (27)	8,571 (1,090)	4,584 (561)
早良	24	22	57 (2)	1,170 (18)	14,147 (706)	7,770 (△510)
西	25 (1)	22	103 (20)	1,675 (241)	20,590 (3,811)	8,917 (1,012)
合計	151 (1)	134 (1)	412 (32)	7,027 (407)	86,401 (7,291)	42,693 (1,306)

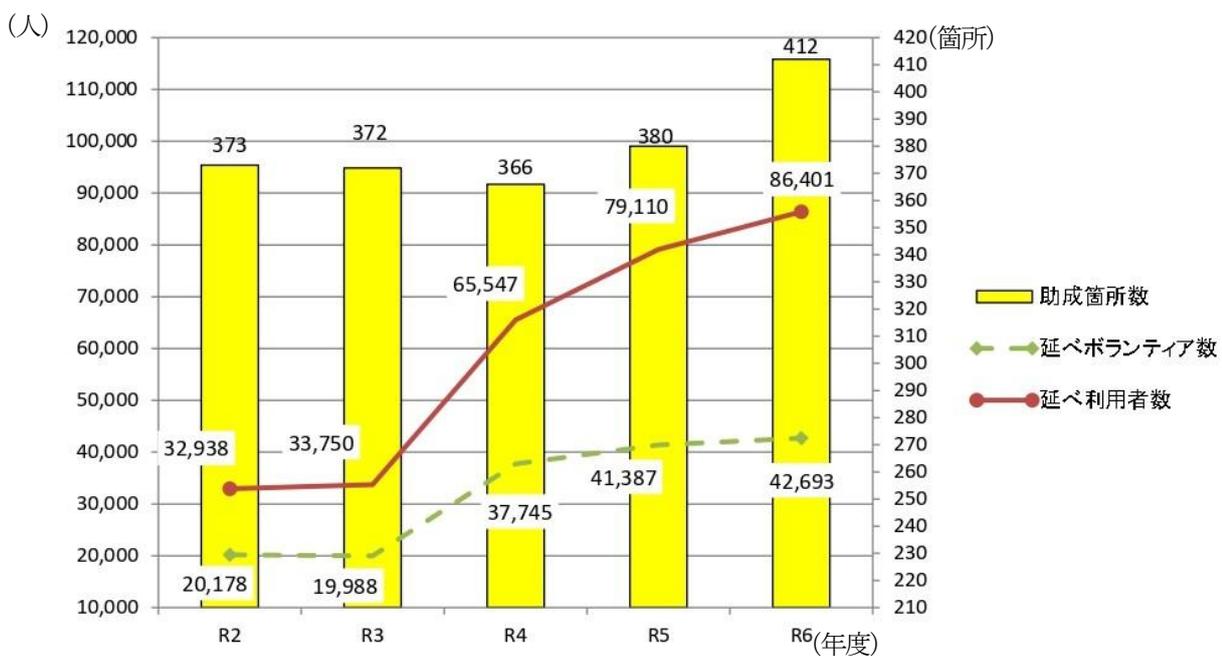
※1 博多区の博多校区、住吉校区、中央区の舞鶴校区は、旧校区数でカウント。

2校区で1つの校区社協を結成している東区の「勝馬・志賀島」、早良区の「内野・曲淵」は各1校区でカウント。

(参考) 1回あたりの平均利用者数：12.3人(+0.4人)

1回あたりの平均ボランティア数：6.1人(-0.2人)

〔助成箇所数、延べボランティア数、延べ利用者数の推移〕



① ふれあいサロン研修会の実施

区単位や、校区・町内単位での研修会を実施することにより、地域の実情に応じたサロン活動ができるように研修会を実施しました。

〔実施状況〕

実施単位	延べ実施回数 (回)	延べ参加者 (人)	主な内容
区	7	371	・レクリエーション講習 ・各サロンの活動共有 ・講話 など
校区・町内	19	409	

② 出前講座協力機関情報の提供

ふれあいサロン等へ、講話やレクリエーションなどの出前講座ができる企業・団体等の冊子を作成・配布し、プログラム策定の支援を行いました。

③ 介護予防機能強化に向けたプログラム指導者等の派遣

ふれあいサロン等における介護予防機能強化を目的として、区社協で養成したボランティアをグループ化し、地域からの依頼に応じて指導者として派遣しました。

区	グループ名	派遣先	派遣回数 (回)
東	お元気届け隊	ふれあいサロン、地域カフェ等	33
南	南区ほがらかたい	ふれあいサロン等	5
城南	楽しか隊	ふれあいサロン等	13
西	わくわくキッズ	ふれあいサロン等	13

(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め今後の活動目標等に見える化し、実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催しました。また、その内容をより多くの住民で共有するため、新たに「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援するとともに、過去に策定済の校区でプラン内容更新の支援を行いました。(累計65校区でプラン策定)

〔新規策定校区〕

区	校区	プラン名
博多	大浜	そうたい！作ろう！よか大浜プラン
西	今宿	今宿校区福祉のまちづくりプラン
	愛宕	「ふれあい・ささえあい」 ～あたたかいまち愛宕をめざして～

〔更新校区〕

区	校区	プラン名
博多	席田	健康で助け合う席田校区をつくろう
早良	飯原	I♡I♡はら 飯原校区いきいきプラン

#### (4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進

##### ① ご近所お助け隊支援事業

###### i) 生活支援ボランティアグループの立上げ・運営支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行う「生活支援ボランティアグループ」に対して、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを支援しました。

〔活動団体数〕 57団体

###### ii) 生活支援ボランティアグループへの費用助成

「ご近所お助け隊支援事業」として、新規立上げ時の初期費用及び運営体制強化の費用を助成し、生活支援ボランティアグループの活動を支援・促進しました。

〔助成団体数・額〕 7団体・363,000円

区	団体数	立上げ助成数	運営強化助成数
東	2	0	2
博多	2	1	2
中央	1	1	1
南	2	0	2
城南	0	0	0
早良	0	0	0
西	0	0	0
合計	7	2	7

※重複あり

###### iii) 生活支援ボランティア研修会及び交流会（福岡市委託事業）

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶ実践発表や、お互いの活動状況や課題等に関する意見交換を行いました。

実施日	内容	参加団体数	参加者（人）
9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体の実践発表</li> <li>・意見交換会</li> <li>・情報提供</li> </ul>	29	46

#### (5) 多様な主体との連携・協働の推進

多様な主体のそれぞれの強み・人材・資源を持ち寄った地域福祉活動の展開へとつなげるため、公民館や福祉施設・事業所、企業、大学、NPO等と地域とのコーディネートに取り組みました。

〔地域と社会資源の協働による取組み〕

- ・福祉施設・事業所、企業、大学等によるふれあいサロンや地域カフェでのプログラム支援  
(例：健康講座、スマホの使い方相談会、終活・相続相談、メイク・マッサージ、大学生のコーラスサークルによる発表など)
- ・大学の協力で認知症高齢者への接し方を学んだガス検針員の見守り活動への参加
- ・NPO制服バンク福岡による制服リユースの取組みを支援し、東区内9箇所の公民館に回収BOXの設置協力【東】
- ・飲食店数店と地域団体、行政機関の有志でグループを結成し、飲食店が作るお弁当を子どもに週1回配付【中央】

- ・自治協議会や事業所ネットワーク、医療機関等と連携し、住民向けの福祉体験学習やインクルーシブ防災訓練を実施【中央・西】
- ・住民が気軽に想いを発信できるようにするため、銀行、スーパー、診療所に意見箱「おざさポスト」を設置【中央】
- ・校区役員・放課後等デイサービス事業所・自閉症育児経験者による、発達に課題を抱える未就学児とその親の遊び場兼相談場所であるこころ音ひろばの開催【中央】
- ・会場提供や送迎支援が可能な福祉事業所を校区社協へ紹介【西】

## 2. ボランティアによる社会参加の拡大

### (1) ボランティアの参加や裾野の拡充

#### ① シニア世代の活動支援事業（シニア地域サポーター養成講座）

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し修了者を地域の福祉活動につなぎました。

	内容	受講者 (人)	活動開始者 (人)
本部	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティア入門講座	16	7
	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティアフォローアップ講座	19	18
東	シニア地域サポーター養成講座（傾聴ボランティア養成講座）	26	12
博多	ボランティア入門 傾聴講座	8	4
中央	助け愛デビュー応援講座	10	7
南	シニア地域サポーター養成講座	8	6
城南	シニアボランティア養成講座	13	2
早良	傾聴ボランティア養成講座	15	5
西	傾聴ボランティア養成講座	19	6
合計		134	67

#### ② 介護支援ボランティア事業（福岡市委託事業）

高齢者（65歳以上）の社会参加、生きがいづくりや介護予防を促進するため、ボランティア登録者を介護保険施設等での活動につなぐコーディネートや、活動に必要な知識・スキルを習得するための講座等を実施しました。

##### i) 登録及び活動の状況（令和6年12月末現在）

[ボランティア登録等]

個人登録者（人）	2,183
登録施設	553
令和6年中の活動者（人）	473

[換金申請]

換金申請者	人数（人）	金額（円）
奨励金交換者	244	847,800
寄付者	105	262,800
合計	349	1,110,600

※活動で付与されるポイントは「奨励金として換金」もしくは「市社協への寄付」を本人が選択・申請。(1日1時間以上の活動=200ポイント=200円に換金。換金の上限は5,000円)

[活動内容]

(令和6年1月～令和6年12月累計)

活動種別	延べ活動者 (人)	活動種別	延べ活動者 (人)
レクリエーション・囲碁将棋	4,000	食事介助の補助	1,458
芸能	1,582	行事の手伝い	51
話し相手	3,582	入浴介助の補助	387
清掃・衣類整理	755	散歩・屋内移動・送迎の補助	146
美容	42	その他	452
合計		12,455	

## ii) 説明会、研修、講座の実施

実施日	内容	参加者 (人)
6月28日、3月26日	登録説明会	30
4月24日、5月30日、6月28日、7月31日、 9月26日、10月22日、11月29日、 12月21日、1月29日、2月25日、3月26日	新規登録者研修	60
7月13日、7月31日、11月29日	ボランティア活動講座	52
8月24日、1月25日	スキルアップ講座	50
合計		192

## (2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

### ① 企業ボランティア活動支援事業【南】

企業の社会貢献や従業員のボランティア活動に関する相談に応じ、活動先の施設等のニーズを調査し、活動先の紹介を行いました。

[実施団体] 福岡県建設労働組合 [件数] 2件

### ② 校区フードドライブ事業【中央】

校区社協の協力により、3ヶ月に1度、家庭で余っている食品を公民館で集めていただき、集まった食品を区社協に寄贈していただくことにより、生活困窮者への相談対応時や子ども食堂で活用しました。

[寄贈受入] 285品

## (3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

### ① 認知症介護家族やすらぎ支援事業(福岡市委託事業)

認知症の方を在宅で介護している家庭に訪問し、本人の見守り・話し相手や家族の相談に応じるボランティア(やすらぎ支援員)の派遣及び養成やスキルアップに取り組みました。

[活動状況]

実利用世帯数	派遣回数(回)	実活動支援員数(人)
7	103	8

[やすらぎ支援員の養成やスキルアップに係る研修] ※やすらぎ支援員の新規登録者数：26人

実施日	内容	参加者（人）
5月30日	第1回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	28
8月27日	やすらぎ支援員養成研修	10
11月14日	第2回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	23
1月30日	やすらぎ支援員養成研修	18
3月14日	第3回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	15
合計		94

② 笑顔の10分コール【東】

新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控え、人と話す機会が減っていることを受け、「誰かに話を聞いてもらいたい」という声に応えるために、傾聴ボランティア笑みの会と東区社協が協働で、専用ダイヤルでボランティアが傾聴する事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、対応件数が減少したことから、令和6年度をもって活動は終了しました。

実施日時	件数
毎週金曜日 13:30～15:30	15

③ ひきこもりの人や障がい者も参加できる居場所づくり【東】

ひきこもりの人や身体、知的、発達、精神等の障がいがある人の社会参加を支援することを目的に、幅広い世代の親子が参加できる料理教室の開催について、会場の紹介やつなぎ支援を行いました。

④ WINプロジェクト（福祉事業所をまとめた冊子を作る会）の支援【東】

障がいのある子どもとその世帯が、学校卒業後の進路を自ら選定できるよう、障がい者福祉事業所の情報を集めた冊子やホームページを作成する「WINプロジェクト」について、事業所とのネットワークづくり等の支援をしました。

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

福岡市と協働し、災害支援団体やNPO等との連携体制づくり、災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）設置候補地の確保、災害VC設置・運営訓練、啓発活動やボランティアの養成などに取り組みました。

① 災害VC運営の基盤づくり（行政や多様な主体との連携）

i) 「福岡市災害VC運営支援に関する協定」締結

締結日	相手方	内容
4月15日	ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区	災害時の資機材等の物的支援、人的支援及び平常時の連絡会議実施

ii) 「福岡市災害VC設置に関する協定」締結

締結日	相手方	内容
3月26日	福岡市、福岡大学	災害VC開設時の敷地の無償提供

iii) 災害VC設置・運営訓練（主催：福岡市社協、大学、福岡市）

実施日	会場	内容	対象	参加者（人）
11月13日	西南学院大学（学校法人西南学院）	・災害VCの役割・業務内容の理解 ・現場での業務確認（訓練）及び災害VC体験	行政職員 大学職員 災害支援団体等 学生、社協職員	55

iv) 災害VC連絡会議

実施日	内容	参加者（人）
12月12日	災害VC運営支援に関する協定を締結している一般社団法人福岡青年会議所、ライオンズクラブ国際協会 337-A地区と社協が平常時から連携を深めるための情報共有・意見交換。	12

v) 災害ボランティア交流会（福岡市との共催）

実施日	内容	参加者（人）
1月23日	行政・社協・団体等の災害時における円滑かつ効率的なボランティア活動のため、平時から災害支援団体、市、市社協、企業、大学等とネットワークを構築するための情報共有・意見交換。	27

vi) 災害支援ボランティア団体等の登録制度の運用

〔登録団体数〕 12団体

② 令和6年能登半島地震における業務支援

九州社会福祉協議会連合会からの要請に基づき、令和6年能登半島地震の被災地である石川県珠洲市へ職員を派遣しました。

期間	内容	延べ派遣人員(人)
4月28日～9月21日	現地災害VC業務支援 (ボランティア活動前のオリエンテーション、依頼者とのマッチング、依頼者宅の現地調査等)	94

③ 災害ボランティアの裾野を広げる市民啓発や人材育成の取組み

i) 西南学院大学「災害ボランティア講座」への講師派遣

実施日	内容	参加者（人）
6月19日	「災害ボランティアとは何か、災害ボランティアとしてできることは何か、参加する方法や注意事項」	29

ii) 災害ボランティア講座（福岡市ボランティアセンター、あすみん共催）

実施日	内容	参加者（人）
6月22日	「災害ボランティアの現場で役立つ知識を身につけるハジメのイッポ」	40

iii) 福岡工業大学オープンカレッジへの講師派遣

実施日	内容	参加者（人）
11月30日	「災害とボランティア～災害時に地域やボランティアでできること～」	22

#### iv) 防災イベントへの参加

実施日	イベント名(会場)	内容
10月29日 ～11月2日	市防災フェア (福岡市役所1階)	災害ボランティアや災害VCについて 紹介するパネル展示

### 3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

#### (1) 地域の子どもプロジェクト（一部福岡市委託事業）

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域との関係が薄く孤立し、生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、子どもの居場所づくりの活動支援・基盤強化や子育て家庭等をサポートする団体・専門職等との連携強化に取り組みました。

##### ① 「子ども食堂」等地域における子どもの居場所づくり支援の拡充

地域住民が主体となって実施する子どもやその親が安心して過ごせる居場所づくりや食事提供、多世代との交流をとおして、生活習慣等を子どもが身につけ自立して生きる力を育む取組み、学生ボランティア等と連携した学習支援の取組み等を支援しました。

[子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）]【附属明細書：P.1（別表1）参照】

##### ② 子どもの居場所を多様な主体が支え応援する仕組みづくりの推進

地域や学校、企業、団体、行政等と連携し、食事・食材の提供をとおして子どもを支える地域づくりに取り組みました。

##### i) 子ども食堂等への食材提供の仕組みづくり

子ども食堂の多くが抱える食材調達の困難さへの支援策として、JA福岡市・JA福岡市東部やベジフルスタジアム活性化委員会への協力を得て、子ども食堂等への食材提供支援事業を実施しました。

また、食材提供支援事業では、食材受取りの申込みや連絡手段にICTを導入し、LINEのオープンチャット機能を活用することで、やり取りにかかる負担軽減と効率化を図り、子ども食堂等の団体とベジフルスタジアム活性化委員会との情報共有を促す仕組みを整備しました。

提供方法	実施回数	受取団体(延べ)
JA福岡市との協働	152	377
ベジフルスタジアム活性化委員会との協働	47	411

##### ii) 飲食店を会場とした子ども食堂等の開設支援【中央】

飲食店が多いという中央区の特性に着目し、飲食店等を会場にした子どもの居場所の開設支援を行った結果、3か所で新たに活動がスタートしました。

校区	会場	名称	活動日
赤坂	KATARU 赤坂店	KATARU 赤坂店 子ども食堂	不定期開催 11:30～15:00 18:30～21:00
当仁	大濠ふれあい食堂	大濠ふれあい食堂(こども食堂)	土曜日を除く毎日 14:00～18:00
	海鮮食堂 鮎寅	海鮮食堂 鮎寅	毎週日曜日 14:00～17:00

iii) 企業等からの寄贈品のコーディネート

企業等から物品や食料等を提供したいとの相談を受け、市内の子ども食堂との連絡調整窓口となり、計画的に寄贈品を受渡す「企業×子ども ふくふくお届け便」を2か月に1回開催しました。

名称	実施回数	受取団体 (延べ)
企業×子ども ふくふくお届け便	6	255

iv) 立花寺緑地リフレッシュ農園との協働による子ども食堂等への食材提供支援事業【博多】

立花寺緑地リフレッシュ農園と協働し、受取りを希望する子ども食堂等へ食材（野菜）提供を実施しました。5回実施し、3団体へ食材（野菜）を提供しました。

③ 関係機関・専門職との連携による子ども・子育て世帯のSOSの早期発見・早期対応

地域の実情に応じた運営を支援するため、団体同士の情報交換やスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」）との連携強化を目的とした交流・情報交換会を実施したほか、福岡市子どもの食と居場所づくり支援事業補助金の申請等の受付業務を含め団体の新設や運営の支援を行いました。

また、関係機関と情報共有を行いながら、個別ケースの支援にも取り組みました。

[子どもの居場所づくり団体の交流・情報交換会]

	実施日	参加団体数	参加者数 (人) ※1	主な内容
東	9月3日	17	21	講話、活動報告、情報交換
博多	9月2日★	15	23	講話、各種団体紹介
	12月5日★	20	24	講話、活動報告、情報交換
中央	10月31日	6	10	関係機関紹介、活動報告、情報交換
南	12月10日	8	10	情報交換
城南	10月2日★	9	16	活動報告、関係機関紹介、情報交換
	2月28日☆	15	16	講話、情報交換
早良	10月16日	12	21	情報交換、関係機関紹介
西	1月17日	12	15	講話、情報交換、関係機関紹介

※1 関係機関を除いた人数

※上記の★は、「地域資源開拓等業務モデル区でのネットワーク会議」と合同開催。

※上記の☆は、「地域資源開拓等業務モデル区でのネットワーク会議」の単独開催。

[SSWとCSWとの合同研修]

実施日	内容	参加者 (人)
7月30日	①SSWとCSWの役割について ②事例検討 ③情報交換	48
8月19日	【西】相互の役割理解と情報交換	18
12月9日	【城南】①社協事業説明 ②グループワーク (校区の状況、地域の協働事例、社会資源の情報共有)	16

④ 子育て家庭等を支援する地域資源の把握・開拓と連携促進（福岡市委託事業）

「地域資源開拓等業務」のモデル区である博多区・城南区の区子育て支援課と連携し、子育て家庭等の支援ニーズ及び地域や民間等が提供している地域資源の把握を行いました。

[支援団体・機関等への訪問・照会回数]

訪問先	訪問回数
団体・機関等	29
地域団体	39
合計	68

## (2) 買い物支援（一部福岡市委託事業）

### ① 地域が主体の買い物支援の推進【附属明細書：P.5（別表2）参照】

#### i) 買い物等支援推進員の配置

市社協本部に買い物等支援推進員を2名配置し、各区社協の生活支援コーディネーター及びCSWと連携して、地域が主体の買い物支援の取組みを進めました。

#### ii) 「買い物支援ガイドブック」の更新・作成

宅配や移動販売を行う店舗等を、区ごとに一覧にした「買い物支援ガイドブック」の情報更新を行うとともに、分かりやすい仕様に改善し、校区社協や民生委員児童委員に配付し、活用を進めました。（計8,800部作成）

#### iii) 有識者会議の開催

買い物支援実践者や有識者などからなる有識者会議を開催し、現状の取組みに対するアドバイスを受け、取組みの改善やさらなる活動の多様化を図りました。

#### iv) 地域が主体の買い物先への送迎事業の支援

香住丘校区（東区）が主体となって取り組んでいる買い物先への送迎事業に対し、持続的な取組みとなるよう車両の貸出やボランティアの確保等の支援を行いました。

### ② ふれあいネットワークやふれあいサロンといった他の地域福祉活動との有機的な連携

地域の会議や企業等との協議の場等で、買い物支援の取組みにより、重層的な見守りや交流、外出の動機づけ、閉じこもり防止、介護予防といった複合的効果が生まれることを発信し、見守りや居場所づくりなどの他の地域福祉活動との連携について働きかけを行いました。

### ③ 協力企業・事業所の開拓

福岡市における買い物困難の課題の共有と買い物支援協力企業の開拓を目的に、企業・団体等（11か所）の相談対応・訪問を行い、「買い物支援の福岡100PARTNERS」の登録企業・団体の増加につなげました。（令和7年3月末現在38社、令和6年度新規登録6社）

また、企業等の買い物支援に対する理解の促進、企業等同士がつながる機会づくり、買い物支援に協力する企業等の拡大などを目的としたセミナーを実施しました。

[企業向け買い物支援セミナー]

実施日	内容	参加者（人）
3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告「福岡市の買い物支援の取組み」</li> <li>・講話「認知症多数派社会に備える ～あんしんして買い物ができる環境づくりについて考える～」</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	19

### (3) 「終活」支援

#### ① 人生の終末期に向けた準備や自己実現の支援（一部福岡市委託事業）

終活に関する幅広いニーズに応じた情報提供等を行うため、終活全般の相談対応・情報提供窓口を常設したほか、専門性の高い相談については弁護士等による予約制相談窓口を定期開設しました。また、終活に関する啓発や幅広いニーズに応えるため、出前講座を実施するとともに、福岡市からの委託を受け、終活の第一歩を考えるためのセミナーを開催しました。

〔終活サポートセンター 相談実績〕 (件)

電話相談	964
来所相談 (うち、予約制相談)	302 (123)
訪問等	51
合計	1,317

〔終活応援セミナー〕 (福岡市委託事業)

	実施日 (期間)	内容	形式	延べ参加者 (人)
第1回	7月29日 ～3月31日	① エンディングノートで備える“終活のこと” ② デジタル遺品の探しかた、しまいかた、残しかた	動画配信	2,397
第2回	12月12日	① 「自分らしく生きる」を考えよう！～ALPから始める納得の終活～ ② カードゲームで踏み出す、あなたの終活	対面	91
	12月24日	「自分らしく生きる」を考えよう！～ALPから始める納得の終活～ (12月12日の講座①の録画上映)	録画上映	7
合計				2,495

〔終活出前講座〕【附属明細書：P.7（別表3）参照】

#### ② 死後事務委任に関する事業

死後事務を頼める親族がない高齢者等が安心して生活できるよう、本人との契約に基づき葬儀や家財処分等を行う死後事務委任事業を、預託金方式と保険金方式の二種類で実施しました。また、厚生労働省の「持続可能な権利擁護支援モデル事業」に採択され、一部の契約者との連絡手段で見守り・交流アプリ（スグニー）を活用する仕組みを導入し、多様な見守りや安否確認の手法や効果検証を行いました。

##### i) ずーっとあんしん安らか事業

事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行うとともに、生前は定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行いました。

##### ii) やすらかパック事業

「ずーっとあんしん安らか事業」の預託金の一括準備が困難な人等に対応できるよう、少額短期保険を活用した定額の利用料金の月払い制度により、保険金を死亡後の葬儀(直葬)、納骨(永代供養)、家財処分の費用等に充てることで死後事務を実施しました。

〔対応件数〕

(件)

種別	ずーっとあんしん安らか事業	やすらかパック事業	合計
相談	459	340	799
新規契約	7	9	16
現契約	81	53	134
解約 (うち、死後事務実施)	4 (3)	2 (1)	6 (4)
定期連絡・臨時対応・関係機関対応 (うち、スグニーでの連絡)	1,404 (11)	868 ※ (59)	2,272 (70)
入退院支援・同行・代行	35	0 ※	35
死後事務	152	31 ※	183

※業務委託先の事業者が実施した件数を含む。

#### (4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

##### ① 事業連携の拡充

社会福祉法人等との協働による、買い物支援や移動支援、認知症高齢者等検索サポート体制整備、生活困窮者等への食品提供、居室清掃活動等の地域課題を解決するための取組みなどについて社会福祉法人等に提案し、地域との連携の仕組みづくりを支援しました。

##### i) 事業所ネットワークの支援

地域の課題解決に向け、福祉・介護・医療・障がい等の専門職や事業所によるネットワークの構築や運営を支援しました。また、CSWを中心に、地域の実情やニーズに応じて事業所ネットワークと地域とのコーディネートに取り組みました。

##### ア 障がいのある方との交流を深める「ふれあい広場」の開催【東】

障がい福祉サービス事業所を中心に、特別支援学校や高校、企業等との連携・協力により、実行委員会方式で各種イベント、出店をイオンモール香椎浜店にて行い、交流の場を支援しました。

##### イ 区役所・福祉事業所等によるフードドライブ【東】

東区社協において、東区役所の協力を得て、使用予定のない食材や生活用品を困窮世帯等へ無償で提供する取組みを継続するとともに、食材や生活用品の提供については、ふくおかライフレスキュー参加事業所へも協力を呼びかけました。

##### ウ 福祉施設による地域貢献サポート事業【博多、南】

区	内容
博多 南	施設の提供メニュー冊子を窓口に設置し、区民への情報提供

##### エ 事業所ネットワーク地域連携支援事業【早良】

地域包括ケア推進のため、早良区では事業所ネットワーク・企業・大学等をふれあいネットワーク活動やサロン活動等の地域福祉活動に17件コーディネートしました。

##### オ 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣をコーディネートし、プログラムの充実に向けた支援を行いました。

## ii) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」として、福岡県社会福祉法人経営者協議会と福岡県社協が主管する「ふくおかライフレスキュー事業」に参画しました。

〔支援状況〕

区	参加事業所数	地区連絡会回数 (回)	支援件数 (件)
東	7	4	5
博多	7	1	0
中央	7	1	1
南	6	1	0
城南	7	1	1
早良	14	2	1
西	15	1	1
合計	63	11	9

## iii) 外国人介護人材と地域住民との交流支援

福岡市が実施する、外国人介護人材と地域住民との交流を通して相互理解を深め、外国人介護人材の定着を促進する「草の根交流プログラム」に協力し、CSWが実施施設と地域とのコーディネートを行いました。

区	校区	実施日	福祉施設	交流事業・内容	参加者数 (外国人参加数)
東	奈多	12月20日	東福岡和仁会病院	奈多団地いきいき健康サロン・健康レクリエーション	34 (4)
博多	千代	11月24日	社会福祉法人敬愛園アットホーム福岡	「ふれあいフェスタ千代」福祉体験コーナー	78 (4)
南	柏原	10月27日	社会福祉法人桜花会ライフケア柏原	柏祭(校区のまつり)での高齢者疑似体験指導	90 (2)
西	能古	11月16日	社会福祉法人小石原福祉会 能古清和園	ふれあいサロンさくら一会クリスマスツリー作り	17 (3)

## ② 組織連携の拡充

種別協議会等の業界団体や関係機関等と連携し、福祉・介護の仕事の魅力を発信するプロジェクトに参画しました。プロジェクトの取組みの一つとして、本会と福岡市老人福祉施設協議会の共催で、将来の介護の担い手となる子どもたちに福祉や介護について考えてもらうきっかけをつくることを目的に、介護に便利な「夢の福祉用具」のアイデアを描いた絵を募集する「カイゴ・ミライスケッチコンクール」を企画し、プロジェクトの市民啓発イベントにおいて、作品の展示や表彰式を実施しました。

## (5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業（福岡市委託事業）

孤立の防止・解消を目指し、日常生活に欠かせず、かつ楽しみや自然の交流が期待できる、「食」を通じた多世代交流の居場所づくりを支援するため、社会福祉施設の食堂などのスペースや公民館等を活用し、社会福祉法人と地域が連携した居場所づくりや、子ども食堂における多世代交流の場への拡充などを進めました。

①社会福祉法人施設等との連携（令和6年度：4か所 延べ：6か所）

居場所の名称	関係施設	区・校区	開催日時 (活動期間)	内容
キッチンしろくま	社会福祉法人白熊会 デイサービス白熊園	城南区 別府	月1回 第3日曜日 (令和6年4月)	ボランティア団体「キッチンしろくま地域支援グループ」が施設の協力を得て食事を提供し、子どもを中心に交流を実施。
あったかキッチン in こたべ	社会福祉法人 福岡県母子福祉協会 母子生活支援施設 室見寮	早良区 小田部	月1回 第3土曜日 (令和6年6月)	地域のボランティアが発意。校区内の児童福祉施設と連携し食事提供と交流を実施。
かふえ もりのいえ	社会福祉法人学而会 サンシャインプラザ サンシャインセンター 学校法人福岡学園 福岡歯科大学 福岡看護大学 福岡医療短期大学	早良区 田村	月1回 第3日曜日 (令和7年1月)	福祉施設と大学が地域の公民館で開催していた「かふえ」活動を児童へと広げ、併せて食事提供をするように拡大して実施。
紺然想	株式会社紺然想 地域密着型通所介護 事業所「紺然想」	早良区 賀茂	月1回 第3木曜日 (令和7年1月)	地域密着型事業所の代表が、民生委員児童委員を受ける中、経営する事業所を活用し、食事の提供と交流を実施。

② 賛同団体への支援

子ども食堂など、既に居場所づくりの取組みを実施している団体で、一定の要件を満たし、「食を通じた居場所づくり」の理念に賛同した7団体を賛同団体として位置づけ、のぼり旗やエプロンなどの啓発グッズを配付しました。(賛同団体 累計18団体)



【賛同団体の要件】

- ・多世代が交流する居場所（参加者が高齢者、子どもなど多世代の参加がある居場所）となっている。
- ・食（食事）を通じた交流がある。
- ・定期的に行われている。（概ね3ヵ月に1回以上）

③「おいしいごはんつながりづくり」～食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業事例集～の発行・配付

居場所づくりについて考えるきっかけとなるよう、事業所と地域が連携した居場所づくりの事例をまとめ、民生委員児童委員や校区社協関係者へ配付しました。(4,000部発行・配付)

## (6) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究

孤独・孤立のリスクを抱える人を支えるセーフティネットとなる、ケアリングコミュニティ<sup>(※)</sup>の構築に向けて、社会的処方の考え方を地域福祉活動に落とし込み、実践するための手法を研究しました。

(※)ケアリングコミュニティ：福祉サービスを必要とする人を社会的に排除せず、地域社会を構成する一員として包摂し、日常生活圏域の中で支えていく機能を有しているコミュニティ。

### ① 社会的処方の地域福祉活動上での実践

社会的処方の協働パートナーである「医療法人寛恵会 がんクリニック」の患者（高齢・子育て世帯）に対し、社会関係を提案する社会的処方を行い、効果を検証しました。

### ② ICT<sup>(※)</sup>の利活用

令和3年度に、非対面による対話ツールとして開発した「見守り・交流アプリ（愛称：スグニー）」を、一部の死後事務委任契約者への定期連絡等に活用し、本人の状態変化や事業の効率化について検証を行いました。

(オンライン通話 14件/メッセージでの安否確認 56件)

(※) ICT: 「Information and Communication Technology」の略

インターネットやLINE等のアプリなど情報通信技術を活用したコミュニケーションのこと。

情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

## (7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

地域共生社会の実現に向けて、制度の狭間の問題など、新たな課題の解決にチャレンジし、「あきらめない福祉」を目指す組織体制を維持・発展させるため、組織内部の環境整備や財源確保策の検討・実践等を行いました。

### ① 多様な寄付の手法の開発と実践

毎月、定額をクレジットカード払いや口座引落としにより寄付する仕組み（マンスリーサポーター）により、自主財源の確保に向け、ホームページ等の環境整備等を行いました。

### ② ファンドレイジングの基盤整備

継続的な寄付者を増やすためのアプローチ、寄付者との関係構築の強化、本会の取組みを可視化するため、情報を一元的に管理する「データベース」の活用やニュースレターの発行、活動報告会を行いました。

### ③ 「SDGs実践プラットフォーム」の構築

今後の福祉政策の基本方針である「地域共生社会の実現」と、企業の社会貢献意識の高まりを動機付けている「SDGs（持続可能な開発目標）」が目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」とが軌を一にしていることを捉え、企業等との連携による社会課題解決モデルを考案し、協働を働きかけました。

## 4. 権利擁護事業の拡充

### (1) 本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人たちが、地域で自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを支援しました。

また、判断能力が著しく低下した利用者については、本会による法人後見受任による対応のほか、専門職による成年後見等につながりました。

〔対応件数〕	(件)
問い合わせ件数	200
新規相談受付	183
新規契約	58
累計契約 (平成 12 年 1 月～)	2,032

※事業開始からの累計解約件数 1,703 件 (死亡・施設入所・成年後見制度への移行等による)

〔現契約件数〕 329 件				(件)
認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
94	69	165	1	

## (2) 成年後見推進センターの機能強化

福岡市が設置した「福岡市成年後見推進センター」の運営を受託し、成年後見制度の普及・啓発及び相談対応、後見人等候補者の受任調整など、成年後見制度の利用促進に向けて取り組みました。また、相談支援機関等からの相談に対し専門職を現地に派遣する取組みや権利擁護支援に携わる関係機関同士の連携を強化する取組みを行いました。

### ① 相談対応

〔延べ相談件数〕 1,389 件

うち、成年後見相談会 (専門職による個別相談会) 27 件 / 13 回

### ② 後見人等候補者の受任調整

会議名	実施回数 (回)	審議件数	ケース検討件数	受任調整件数	受任者調整件数
ケース検討・ 受任者調整会議	24	98 件	7 件	93 件	102 件

※受任者調整件数にはケース検討審議事案からの受任者調整も含む。

※複数後見も含まれるため審議件数と受任者調整件数は一致しない。

### ③ 成年後見等アドバイザー派遣

〔延べ派遣回数〕 5 回 〔派遣専門職〕 弁護士、司法書士

### ④ 出前講座・講演依頼等

【附属明細書 : P.9 (別表 4) 参照】

### ⑤ 福岡市権利擁護支援ネットワーク協議会研修会

実施日	参加者数 (人)	会場	内容
10 月 25 日	69	博多区役所	令和 6 年度博多区地域包括ケア推進会議 拡大研修 (博多区地域保健福祉課との共同開催)
11 月 29 日	55	市民福祉プラザ	ぱあとなあ福岡「福岡北・糸島地域支援部」勉強会 (ぱあとなあ福岡との共同開催)
1 月 11 日	44	クローバープラザ	ぱあとなあ福岡「福岡南・筑紫地域支援部」勉強会 (ぱあとなあ福岡との共同開催)
2 月 19 日	81	なみきスクエア	第 3 回東区多職種連携研修会 (東区医師会との共同開催)

3月17日	59	市民福祉プラザ	「次に繋がる！チームによる権利擁護支援の課題を考える事例検討会2」 (成年後見センター・リーガルサポート福岡支部との共同開催)
-------	----	---------	--

### (3) 市民後見人の養成と活躍支援（福岡市委託事業）【附属明細書：P. 10（別表5）参照】

「福岡市市民後見人養成研修」（対面形式）を実施し、新たな市民後見人候補者10名を養成しました。

同研修修了者及び法人後見サポーター（本会后見業務の履行補助者）のうち、希望者を「福岡市市民後見人候補者名簿」に登録し、その中から新たに7人が市民後見人として家庭裁判所により個人選任されました。うち2件は本会が後見等監督人に選任されています。

また、法人後見サポーターに対して、活動先を調整し、後見業務の実務や書類作成業務等のOJT研修や、スキルアップ研修を開催し、技能習得や活動意欲の醸成を図りました。

登録先	登録者（人）
法人後見サポーター名簿 (うち、活動者)	57 (23)
福岡市市民後見人候補者名簿 (うち、活動者)	45 (11)

### (4) 法人後見事業の推進

「日常生活自立支援事業」や「ずーっとあんしん安らか事業」等の契約者が、判断能力低下後も安心した生活が送れるよう、法人として成年後見人等を受任することにより、継続的な支援に取り組みました。

また法人後見受任ケースを市民後見人へ引き継ぐ場合、本会が後見等監督人を受任し、被後見人等が安心して生活できるよう支援しました。

[受任件数] (人)

	新規受任	累計受任	現受任 (※)	終了
法人後見	8	136	46	90
後見等監督人	2	6	4	2

(※) 現受任内訳 (人)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
法人後見	39	4	3	46
後見等監督人	4	0	0	4

### (5) 親なき後支援事業の推進

障がいやひきこもりなど、生きづらさを抱えている人の「親なき後にどう備えるか」という問題解決の一助として、生命保険信託による「生活費の確保」と身上保護サービスによる「伴走支援」を行う「親なき後支援事業」を周知し、市の周知や市民からの相談に対応しました。

[対応件数] (件)

相談	新規契約	現契約	解約
91	0	0	0

[支援対象者の内訳] (人)

種別	ひきこもり	知的障がい者	精神障がい者	重複障がい等	不明
件数	12	15	43	14	16

※複数回答のため、相談件数と内訳の総数は一致しない。

[支援対象者からみた相談者の続柄の内訳] (人)

種別	本人	親	兄弟姉妹	その他親族	支援者
件数	1	75	3	1	14

※複数回答のため、相談件数と内訳の総数は一致しない。

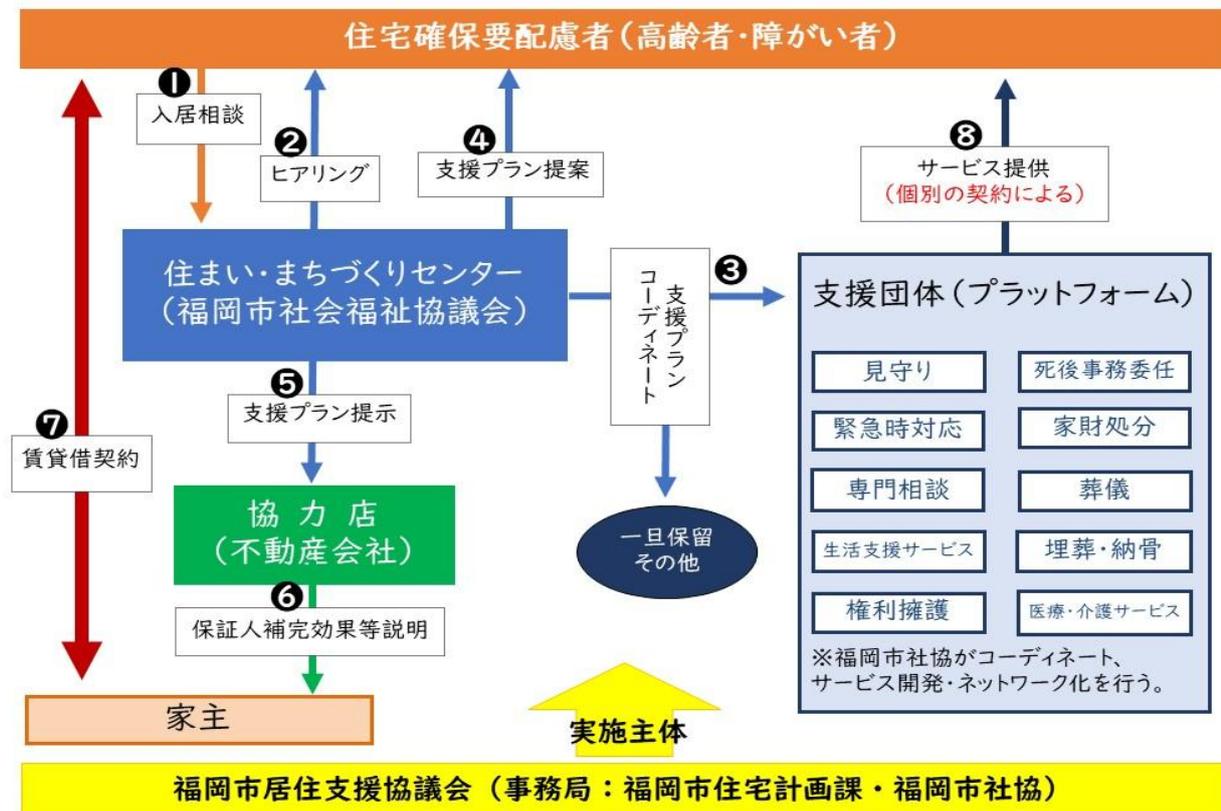
## 5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

### (1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営

高齢者・障がい者・社会的養護出身者・子育て世帯・低所得者などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安心して地域で生活を続けられる社会を実現するため、“住まい”と“日常生活支援”を一体的に提供し、安心して継続居住できるよう支援を行いました。

### (2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）

住替えに困っている高齢者や障がい者世帯を対象に、入居支援と入居後の生活支援のコーディネートを行いました。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」（事業運営の基盤となる仕組み）を運営しました。



〔登録・相談実績等〕

協力店登録社数（社）	支援団体登録数（団体）	相談受付数（件）	賃貸借契約締結数（件）
66	14	581	86

〔内数：障がい者の実績〕（件）

相談受付数	賃貸借契約締結数
190	18

### （３）居住支援法人事業の実施

住宅確保要配慮者（高齢者・障がい者を除く）を対象に、「法人後見事業」や「生活福祉資金貸付事業（転宅費）」等の市社協各事業間及び他の関係機関との連携を通じて、主に市内民間賃貸住宅への入居支援と入居後の生活支援をコーディネートしました。

〔相談実績等〕相談受付数：84件、賃貸借契約締結数：14件

### （４）制度の狭間を埋める分野横断的な役割の実践

「住まい」を基点に、制度の狭間に取り残されている課題の発見・整理や狭間を埋める手段を検証するとともに、課題の解消に向けて「多分野協働のプラットフォーム」の形成を図り、福祉や住宅など複数分野に横串を刺す居住支援策を展開しました。

また、地域共生社会実現への重要なアプローチ手法である「多機関協働」「複合的課題を抱えるケースへのアウトリーチ」等を実践し、関係者との緊密な協力体制を構築することで迅速な転居支援を行いました。



### （５）空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

一般社団法人古家空家調査連絡会（建築士、弁護士、司法書士、税理士、宅建士等の専門家により結成）との共同事業として、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組みを運営し、「増え続ける空家・空室」を活用して、地域カフェや子ども食堂、シェアハウスや福祉サービス事業所など、今までに創出した事例の活動維持、新たな活用ケースの創出に努めました。

〔新たな活用ケース〕

名称	開始時期	校区	活用方法
月の木弁当	令和6年9月	香住丘校区（東区）	宅配弁当、ふれあいサロン

## (6) 南区若久の遺贈不動産活用検討【新規】

地域のために活用してほしいという想いととも市民から譲り受けた土地・建物を、地域の福祉拠点として活用していくための検討を進めました。

「交流・ふれあい」「生きがい」「多様性の尊重」「おたがいさまの関係」「安心した暮らし」の5つのテーマを踏まえ、高齢者の孤独・孤立問題、身寄り問題、子ども・若者問題などの解決を図るため、多様な事業の実施に向けて、複数の事業所や団体と調整を行いました。

また、活用に向けて物件全体の改修工事を行うとともに、地域住民や福祉関係者などが改修段階から作業に加わることで地域に密着した福祉拠点とすることを目的とした、住民参加型による壁画ペイントワークショップを実施しました。

## 6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

### (1) 個人情報の保護と活用

#### ① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

本会で作成した指針を使用し、個人情報の保護と活用に関する正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授による出前講座を実施しました。

区	校区	会合名等	参加者 (人)
南	弥永西	ふれあいネットワーク学習会	55
西	玄洋	ふれあいネットワーク研修会	36
合計			91

### (2) 福祉教育の推進

#### ① 多様性を尊重する共生社会づくりに向けた福祉教育の推進

障がいのある人が排除されることなく安心して暮らせる共生社会の実現に向け、当事者団体の協力を得て障がいへの理解を深め、支援活動ができるボランティアを養成する講座を実施しました。修了者を障がい者支援を行うボランティアグループにつなげ、支援の輪を広げています。【事業報告：6頁（2.（1）①表中の本部）参照】

また、障害者差別解消法の改正にあたり、地域福祉部会・各区校区社協会長会にて、改正法の正しい理解と合理的配慮について学ぶ勉強会を実施しました。

#### ② 関係団体との協働による福祉・介護人材確保に向けた啓発事業の推進

福祉・介護業界の喫緊の課題である「福祉・介護人材の確保」に向け、多種多様な団体がつながりその魅力を発信する「ふくおかカイゴつながるプロジェクト」に実行委員として参加し、福祉・介護業界の魅力を発信を行いました。

実施日	内容	参加者 (人)
2月23日	「ふくおかカイゴつながるプロジェクトNEXT2024」 トークセッション、カイゴ・ミラリスケッチ表彰式 他	950

#### ③ 校区インタビューの実施【城南】

中村学園大学の学生が校区社協会長に校区社協の活動について質問し、学生が地域福祉活動に関心を持つ契機となる機会を設けました。

実施日	内容	参加者（人）
12月16日	校区社協会長講話、学生インタビュー	100

④ 事業所ネットワークと連携した福祉教育カリキュラムの作成と実施【西】

事業所ネットワークと協議し、福祉事業所の知見や経験を活かした福祉教育カリキュラムを作成し、小学校の総合的な学習の時間にて実施しました。

## 7. 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

### （1）困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成

職員の力量を高めるため、職員研修体系に基づき、CSWのスキルアップに重点を置いた「地域福祉専門職研修」を企画・実施するとともに、引き続き外部研修への積極的な参加勧奨を行いました。また、社会福祉士等の資格取得の支援により、多くの職員が有資格者となるなど、職員の資質と専門性が向上しました。

### （2）様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援

様々な生きづらさや共通の課題を持つ人のつながりや交流の機会を創出するとともに、共感のなかで悩みを打ち明け、問題解決のために経験や情報を分かち合い、相談活動や社会に理解を広める活動を行うセルフヘルプ（自助）グループの支援に取り組みました。

#### ① 認知症高齢者や家族を支える取組み

##### i) 家族介護者のつどいの実施【附属明細書：P.11（別表6）参照】

在宅で寝たきり高齢者や認知症高齢者、障がい者等を家庭で介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを16か所で実施しました。

##### ア 家族介護者のつどいへの助成【博多】

〔助成状況〕 助成団体数3団体      〔助成額〕 6,000円

##### ii) 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行うとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みづくりに努めました。

区	校区	内容
東	西戸崎、奈多 和白、千早西 城浜、香住丘 香椎、千早 舞松原、八田 筥松、東箱崎 箱崎、馬出	東区地域保健福祉課、事業所ネットワークと協働で、事業所のスタッフが認知症高齢者役となり、認知症の方への声かけ体験を実施。内容をパッケージ化することで、各校区へ展開。

区	校区	内容
南	弥永	スーパーダイキョープラザ、事業所ネットワークとの協働により声かけ訓練を実施。
西	壱岐	校区社協と圏域の事業所ネットワークで、行方不明者の搜索訓練や認知症サポーター養成講座を行い、ふれあいネットワーク活動を強化。 令和5年度からはLINE オープンチャットを活用し、認サポと行方不明者搜索訓練を実施。令和6年度は、令和7年度の実施に向けて、「徘徊～マリリン87歳の夏～」を上映し、地域住民とともに認知症について考える機会をもった。
	周船寺	校区社協と校区防犯推進委員会で、事業所ネットワークの協力のもと、認知症の理解について説明し、LINE グループを活用した搜索模擬訓練の実施や行方不明搜索時連絡網の構築を行った。

### (3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化

#### ① 地域と連携した包括支援事業（福岡市委託事業）

##### i) 民生委員や「制度の狭間」の支援機関からの相談に基づく個別支援

本部に個別支援型のCSW（地域共生推進員）を7名配置し、民生委員や「制度の狭間」の支援を行っている機関からの相談を積極的に受け付け、複合多問題ケースへの同行訪問や助言等の伴走型支援を行いました。また、多機関協働による支援が求められるケースについては、関係機関と連携しながら課題の整理や役割分担などの支援調整を行いました。

〔相談対応実績〕

相談件数（世帯数）	244
新規受付分	196
過年度受付分	48
延べ対応件数	2,865

##### ii) つながり支援会議（重層的支援会議）の開催

地域共生推進員が継続的に関わる必要性が高いケースについては、「支援プラン」を作成し、行政や制度の狭間の支援機関等が参加する「つながり支援会議」において、新規プランや見直しプラン等に関する検討を行いました。

〔開催回数〕 12回

〔審議件数〕 新規：22件、見直し：36件、終結：3件

##### iii) 支援ネットワークの充実

孤独・孤立の課題を身近なものとして捉え、それぞれの立場でできることを考えるきっかけづくりを目的に、企業や社会福祉法人等を対象とした「地域共生シンポジウム」を開催しました。

また、シンポジウム参加者を対象に「ニュースレター」を月1回配信し、継続的な関係性を維持しながら、個別課題が生じた際にそのネットワークを支援に活かすことができる体制づくりを行いました。

〔地域共生シンポジウム〕

実施日	内容	参加者
1月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演 「10年後の彼と地域を見つめた就労支援～未来への下ごしらえ～」 講師：野々村 光子氏（社会福祉法人わたむきの里福祉会 奉仕）</li> <li>・グループワーク 基調講演の内容を参考にしながら、働きづらさを抱える人と地域の未来のために参加機関が「取り組めること」「してみたいこと」をテーマに意見交換を行った。</li> </ul>	22

② 生活困窮者の課題解決に向けた関係機関との連携、支援

i) 他機関連携による相談支援体制の強化

生活福祉資金受付センターでの相談時に、総合支援資金の借入を希望する離職者やコロナ特例貸付の償還免除となっている人等を福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業の利用につなぎ、連携して支援しました。

また、経済的な事情による子どもの体験格差の解消を図るため、福岡県社会福祉協議会と協議した結果、新たに「義務教育期間中の子どもの修学旅行費が必要なケース」を貸付対象とし、貸付にあたってはスクールソーシャルワーカー・小中学校教員等と連携して手続きを支援しました。

そのほか、フードバンク活動団体などとの連携により提供された食品を、生活困窮者の支援に活用しました。

〔他機関との相談連携件数〕	(件)
福岡市生活自立支援センター	51
その他の関係機関等	633
合計	684

〔提供された食品数〕	(品)
フードバンク福岡	2,613
日本非常食推進機構	368
合計	2,981

③ 地域包括支援センターの運営による個別支援機能の強化（福岡市委託事業）

地域において、地域包括支援センターの個別支援と社会福祉協議会の地域支援が融合するような実践を目指し、取組みを進めました。

i) 地域包括支援センター事業業務

〔総合相談・支援業務実績〕		(件)
実件数		481
延べ件数		3,010
相談内容内訳	保健	462
	福祉	95
	医療	185
	介護	1,644
	権利擁護	317
	その他	307

## ii) 介護予防支援事業業務

[介護予防給付請求件数]

延べ 3, 683件 (月平均約306件)

### ④ 「生活上のよろず相談会」の実施【早良】

早良区に居住又は通勤・通学している人を対象に、相続・遺言・生前贈与、成年後見制度、年金・社会保険、離婚、債務整理、交通事故等生活上の悩みに関する相談会を早良区社協で実施しました。(相談は、弁護士・行政書士・社会保険労務士が対応。)

開催日時	相談件数
毎週火曜日 16:00~17:30 (祝日、お盆、年末年始除く)	2

### ⑤ 区役所と連携した食料等提供支援事業の実施【博多】

博多区に関連する企業等5か所から寄せられた食料や生活用品をフードパントリーとしてストックし、博多区役所来庁者のうち、社会的・経済的に困難を抱える世帯からの相談に応じ、398件の食料等の配布支援を行いました。また、継続的な事業展開のために、7~8月にかけて博多区役所内でフードドライブを実施しました。

### ⑥ 視察の受入【附属明細書：P.12 (別表7) 参照】

多職種との連携、CSWによる地域支援、本会が取り組んでいる事業等について、様々な団体からの依頼に応じて視察の受入れを行いました。(延べ32団体、253人)

### ⑦ 講演等の依頼【附属明細書：P.15 (別表8) 参照】

様々な団体等からの依頼に応じて講演等を行いました。(延べ86団体、4,420人)

## (4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

積極的に地域へ出向き、地域のボランティア等を介して、制度の狭間の課題を抱える人や支援が必要な人を把握する「アウトリーチ」による相談支援を進めるCSWを配置するとともに、各区社協に適切なCSW配置数を実現できるよう組織的にCSWの人員配置の強化に努めました。

### ① 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化

福岡市が地域包括ケア推進のため実施している「生活支援体制整備事業」の委託を受け、各区1名の生活支援コーディネーターを配置するとともに、その業務・経験を通して区社協のCSWのスキルアップと機能強化を図りました。

地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの関係性を活かし、地域課題の把握や事業者等への参画を働きかけ、包括圏域や区域における社会資源の創出を支援しました。特に買い物支援や地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めました。

## 事業項目

※下線を引いた項目は「重点項目」の再掲

### 1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化

(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進

(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進

(5) 多様な主体との連携・協働の推進

(6) 校区社会福祉協議会強化への支援

① 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援【附属明細書：P.23（別表9）参照】

（共同募金校区社協助成金、共同募金地区福祉事業費助成金、賛助会費交付金）

区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援しました。

〔助成額〕 63,468,643円

② ふれあいランチへの助成・支援

食事の準備が困難な高齢者や障がい者などに、地域住民がボランティアで週1～2回、食事を配ることにより、安否確認、各種相談等を行って交流を深める活動を区社協とともに支援しました。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成しました。

〔実施校区〕 東区美和台校区 〔助成額〕 284,700円

③ 校区社協広報紙の発行に対する助成

〔実施校区数〕 134校区 〔助成額〕 5,253,193円

④ 校区社協への研修バス等交流事業への助成【東、早良】

交流・親睦や地域福祉に関する理解を深めることを目的としたバスハイクのバス借上げ料や研修会の開催費用を助成しました。

〔助成校区数〕 東区：19校区（参加者数634人）

早良区：20校区（参加者数984人）

(7) 安心情報キット、緊急時連絡カードの配付事業

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いた用紙を筒に入れて冷蔵庫で保管することができるキットを、一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付しました。また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配付しました。

〔安心情報キット配付者数〕 1,947人

〔緊急時連絡カード配付数〕 13,222枚

① 救急搬送時医療情報シートの普及促進【南】

医師会と連携し、安心情報キットに救急搬送医療情報シートを封入する取組みへの協力を引き続き行いました。

(8) 民生委員児童委員協議会との連携

共に地域福祉を推進する民生委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会への活動費を助成しました。

〔助成額〕 7,275,600円

(9) レクリエーション用具の貸出【東、博多、南、城南、早良、西】

地域活動等で活用できるレクリエーション用具の貸出を行いました。

(10) 地域カフェ支援事業【南】

施設と住民が協働し、施設職員や利用者、地域高齢者・住民、ボランティア等、誰もが気軽に立ち寄り、お茶などを飲みながら、会話や交流できる居場所（地域カフェ）を実施する団体に対して助成しました。

〔支援状況〕 15校区・23か所（延べ参加者数6,024人）

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

① その他シニア世代のボランティア活性化の取組み

i) 講座・交流会の実施

実施日	内容	延べ受講者（人）
6月15日、6月22日	ボランティアのための傾聴入門講座	29
6月29日、7月6日		29
10月12日、10月26日、11月2日	コミュニケーションスキルアップ講座	18

ii) イベントへの参加（ボランティア紹介ブースの出展）

実施日	内容
11月18日	福岡地区しごと・ボランティア合同説明会
2月8日	アラカンフェスタ

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

(5) 福祉施設等に対するボランティア活動の推進

実施日	内容	受講者（人）
3月5日	福祉施設等ボランティア担当職員研修会	26

(6) ボランティアのコーディネート及び活動情報の収集・発信

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結びつくよう支援しました。

① ボランティアコーディネーション事業

i) 個人ボランティア活動相談・登録

㊤活動相談 (合計)	㊦対応状況	相談のみ	マッチング率(㊦÷㊤)
482	473	9	98.1%

ii) ボランティア依頼

㊤依頼合計	㊦対応	延べ対応ボランティア数（人）	マッチング率(㊦÷㊤)
1,021	864	1,888	84.6%

〔依頼内容〕

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	621	技術・学習指導	28	朗読	3
話し相手	59	遊び相手	20	託児	3
日常活動援助	28	点訳	57	その他	87
行事援助	92	家事援助	23		
合計					1,021

### iii) 登録ボランティア内訳

	新規登録者数 (人)	現登録者数 (人)
個人ボランティア	203	968
ボランティアグループ	3 団体 (41)	194 団体 (5,258)

#### ② 施設等ボランティア情報の周知

市内の福祉施設で募集しているボランティアの情報をまとめた「施設ボランティア募集情報」を配布しました。

#### ③ ボランティア情報紙「風」発行

ボランティアセンターに寄せられたボランティア募集やイベント・講座情報、グループ情報などを掲載した情報紙を発行しました。

〔発行回数〕 4回 (3か月に1回発行)

〔発行部数〕 約 1,800部/回

#### ④ 芸能グループ情報冊子発行

ボランティアセンターで把握している芸能グループ (111団体) の情報をまとめた冊子を作成しました。

### (7) 各種ボランティア講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて養成しました。

#### ① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催しました。

実施日	内容	受講者 (人)
8月22日～11月14日(全13回)	視覚障がい者のための音訳ボランティア養成講座	27
10月9日・16日・23日・30日	視覚障がい者外出サポートボランティア入門講座	15
11月20日	ガイドボランティアフォローアップ講座	8
10月1日、1月31日	点訳ボランティアフォローアップ講座	130

#### ② 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行うボランティアを養成しました。

実施日	講座内容	受講者 (人)
11月28日	おでかけ付き添いボランティア入門講座	17

#### ③ 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座の開催

地域の支え合いや地域の課題解決に向けて、地域で活動するボランティアを養成するため、関係機関や関係団体と協力して養成講座を実施しました。

区	延べ実施回数 (回)	延べ参加者数 (人)	主な内容
東	1	25	ボランティアとは
博多	4	158	認知症サポーター養成講座、ユマニチュード講座 など
中央	3	130	社協について勉強会 孤独・孤立対策について
南	11	361	認知症サポーター養成講座、 ユマニチュード講座 など
城南	1	24	認知症サポーター養成講座

区	延べ実施回数 (回)	延べ参加者数 (人)	主な内容
早良	3	30	地域ボランティア研修
西	3	75	認知症サポーター養成講座、ボランティア研修会
合計	26	803	

### (8) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行いました。

#### ① 登録ボランティアグループの状況調査

「センター登録ボランティアグループ一覧」を作成しました。

#### ② 活動拠点・資材・情報の提供

ボランティアルームなどの活動室、印刷室、オンラインツール等の貸出を行いました。

〔件数〕 2, 013件 (延べ10, 338人利用)

#### ③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

社会福祉の推進を目的とした自主的な活動を支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会へ活動費を助成しました。

〔助成額〕 100, 000円

#### ④ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信

福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、59団体の芸能グループの動画を配信しました。

#### ⑤ ボランティアグループ向け研修

ボランティアグループ向けに「ボランティアに活かせるコミュニケーション講座」として、ボランティア活動やグループの会議などで活用できる「傾聴」について学ぶ機会を設け、ボランティアグループの活動の活性化、円滑化を目的に実施しました。

〔実施日〕 2月26日      〔参加者数〕 34人

### (9) ボランティア交流の日事業【中央、早良】

切手整理によるボランティアの交流会を実施し、企業や学生ボランティア、他区在住のボランティアの受入れも行いました。

区	実施日
中央	毎月15日(閉所日の場合は、直後の開所日) 14:00~16:00
早良	毎月8日(閉所日の場合は、直後の開所日) 14:00~15:00

## 3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

### (1) 地域子どもプロジェクト (一部福岡市委託事業)

### (2) 買い物支援 (一部福岡市委託事業)

### (3) 「終活」支援

### (4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

### (5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業 (福岡市委託事業)

### (6) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究

### (7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

### (8) ファミリー・サポート・センター事業の推進 (福岡市委託事業)

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めました。

## 〔会員登録状況〕

(人)

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
3,863	958	399	5,220

## 〔活動内容及び回数〕

	活動内容	回数
1	子どもの習い事等の場合の援助	2,915
2	保育所・幼稚園の迎え	2,064
3	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,552
4	保護者等の買い物等外出の場合の援助	810
5	保育所・幼稚園の送り及び登園前の預かり	725
6	(その他)保育所・学校等休み時の援助 保育所・幼稚園の送り 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 等	4,894
合計		12,960

## 〔講習会・交流会等の実施〕

- ・依頼会員登録講習（支部：月～金曜日、本部：第3土曜日）
- ・提供・両方会員養成講習会（5回、受講者延べ354人）
- ・フォローアップ講座（2回、受講者延べ29人）
- ・支部会員交流会（8回、参加者81人）
- ・提供会員・両方会員懇談会（11回、参加者延べ141人）

## (9) 子育てサロン・サークルの支援

子育てサロン・サークルの活動内容の充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした、子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施しました。

## ① 子育てサロン支援事業（上記保育士派遣に係る助成）【博多・早良】

〔助成状況〕博多区：助成団体数2団体 助成額 4,000円  
早良区：助成団体数4団体 助成額 12,000円

## ② 子育てサロンへの助成【南】

〔助成状況〕助成団体数23団体〔助成額〕230,000円

## (10) 「子育てリフレッシュ事業」の実施【東・西】

区	実施日	内容	参加者 (人)
東	6月17日	骨盤ストレッチ等の運動講座	保護者 4
		心身のリフレッシュを図るための参加者同士の交流会	託児 4
西	9月19日	ベビーサイン教室	保護者 9
		子育てに役立つ情報提供	子ども 9

## 4. 権利擁護事業の拡充

- (1) 本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施
- (2) 成年後見推進センターの機能強化
- (3) 市民後見人の養成と活躍支援（福岡市委託事業）
- (4) 法人後見事業の推進
- (5) 親なき後支援事業の推進

## 5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

- (1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営
- (2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）

- (3) 居住支援法人事業の実施
- (4) 制度の狭間を埋める分野横断的な役割の実践
- (5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」
- (6) 南区若久の遺贈不動産活用検討【新規】

## 6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 個人情報の保護と活用
- (2) 福祉教育の推進（福祉学習教材の提供、出前福祉講座）

学校や地域、市民、企業に対し、福祉やボランティア活動についての学習の機会を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図るため、出前福祉講座を実施しました。

	件数	主な内容	参加者(人)
本部	11	車いす体験、アイマスク体験、講話 等	279
東	11	車いす体験、アイマスク体験、キッズユマニチュード講座	1,075
博多	4	車いす体験、アイマスク体験、ユニバーサルデザインの紹介	659
中央	3	車いす・アイマスク体験	247
南	9	車いす体験、アイマスク体験、認知症キッズサポーター養成講座 ユニバーサルデザイン紹介	1,297
城南	2	車いす体験、アイマスク体験、ユニバーサルデザイン紹介	115
早良	6	車いす・アイマスク体験、視覚障がい者による講話、ユニバーサルデザインに関する講話	445
西	11	車いす体験、点字教室、高齢者疑似体験、認知症キッズサポーター養成講座、地域福祉活動の講話、	1100
合計	57		5,217

### (3) 広報紙やホームページ等を通じた情報発信

#### ① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行

福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布しました。

〔発行回数〕 3回（第133号・第134号・135号）※市版及び7区版を発行

〔発行部数〕 355, 270部（第133号）

355, 200部（第134号）

362, 760部（第135号）

#### ② 社協ワーカーだよりの発行

校区社協や民生委員をはじめ、地域福祉活動に携わる人や関係機関に対し、月1回「社協ワーカーだより」を発行し、市・区社協の職員（「社協ワーカー」）の役割を啓発するとともに、本会の活動内容の情報を発信しました。

#### ③ ホームページの運営

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、最新情報の発信を行いました。

### (4) 福祉のまちづくり推進大会の開催

実施日	会場	内容	参加者(人)
11月15日	福岡市民会館	福祉活動紹介 東区 香椎下原校区 自治協議会・社会福祉協議会・民生委員 児童委員協議会・地域を守ろう会防災部会 「インクルーシブ防災訓練～平時の取組みが有事の備えに～」	800

## (5) 市民福祉プラザの運営

### ① 貸室等運営【附属明細書：P.24（別表10）参照】

#### i) 貸室管理

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行いました。

福岡市公共施設案内・予約システム（通称：コミネット）の導入により、利用者の利便性を向上させました。

〔施設全体の利用延べ人数〕 235,241人

#### ii) プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行い、意見をふまえてプラザ運営の改善を行いました。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議しました。

- ・プラザ入居団体連絡会（6回）
- ・当仁校区自治協議会連絡会への参加（9回）
- ・団体連絡室利用団体との懇談会（1回 参加4団体）
- ・ボランティア連絡協議会との懇談会（1回 参加6団体）

### ② 福祉啓発

#### i) 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせてレストラン内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示しました。

〔実施日〕 令和6年12月1日～26日

〔参加数〕 7施設・団体 39作品

#### ii) ふくふくプラザ写真展

写真を趣味としてプラザを利用している高齢者団体を対象に、生きがい活動の支援と利用団体相互の交流を図ることを目的に、写真展を開催しました。

〔実施日〕

第1回	6月1日～6月14日
第2回	5月17日～5月30日
第3回	6月16日～6月29日
第4回	7月1日～7月15日

〔参加数〕 5団体 91作品

#### iii) みんなでふくし&ふくふくプラザまつり

福岡市ボランティア連絡協議会、エフコープ生活協同組合、暮らしをかえる「め」の福祉機器展実行委員会等と共催し、地元の唐人町商店街と連携してイベントを開催し、市民の福祉啓発を図りました。より多くの市民の参加と啓発の相乗効果を目的に、介護実習普及センターと連携して「介護フェスタ」と同日に開催しました。

実施日	内容	参加者(人)
9月28日	バリアフリー機器紹介・体験、バザー 他	4,632

#### iv) バリアフリー映画上映会

視覚や聴覚に障がいがある人もない人も共に映画を楽しむことができる音声や字幕のついた映画の映上会を開催しました。

実施日	内容	受講者(人)
9月28日	映画「お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方」	218

#### v) 市民福祉講演会の開催

「子ども・若者」「高齢者・認知症」問題等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催しました。

実施日	内容等	参加者(人)
7月8日	「笑って元気 話さなければ話せなくなる」～笑うこと・話すこと・社会での居場所づくり～ 講師：佐伯市宇日鷹鳥屋神社 宮司 矢野 大和 氏	235
12月11日	「笑いと涙の母娘の日々(そして時々、父も)」～認知症介護のリアル～ 講師：ドキュメンタリー映画監督 信友 直子 氏	223

### ③ 福祉図書・情報室の運営

#### i) 利用状況

内容	図書(冊)	ビデオ・DVD(本)	インターネット貸出延長件数
蔵書数	30,877	837	
利用状況(貸出数)	9,739	451	1,033

〔利用者数〕 延べ26,164人(新規登録者数267人)

〔レファレンス数(調べもの相談)〕 617件

#### ii) 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供しました。

〔利用者数〕 延べ37人

### (6) 福祉バス運営事業(福岡市委託事業)

高齢者、障がい者団体等の社会参加を支援するため、福岡市から委託を受けて、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行いました。

〔利用台数〕 (台)

老人クラブ	障がい児・者団体	公民館高齢者教室	その他	合計
325	90	72	34	521

### (7) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉事業従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施しました。

研修対象	研修事業名	受講者(人)	
民間社会福祉事業従事者 社会福祉関係団体職員等	新任職員研修 I 【社会人1年目】(2日間)	49	
	〃 II 【2～3年目】(2日間)	55	
	中堅職員研修(2日間)	44	
	リーダー研修(指導的職員)(2日間)	36	
	メンタルヘルスケア研修(一般職コース)	24	
	メンタルヘルスケア研修(管理職コース)	19	
	相談援助面接技術研修	45	
	救急法研修	第1回	31
		第2回	29
		第3回	26
第4回		30	
福祉レクリエーション研修	第1回	34	

研修対象	研修事業名	受講者 (人)	
民間社会福祉事業従事者 社会福祉関係団体職員等	福祉レクリエーション研修	第2回	26
		第3回	19
		第4回	6
社会福祉関係団体職員等	接遇研修	第1回	39
		第2回	38
	人権研修		47
合計		597	

(8) 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業【附属明細書：P.25（別表11）参照】

民間社会福祉施設などに従事する職員の福利厚生の推進を目的に事業を実施しました。

加入契約法人数	施設数	加入職員数（人）
130	175	5,186

(9) 保育士人材確保事業

福岡市内の保育士人材の確保を目的に、保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人（潜在保育士）への再就職支援のための貸付事業を実施しました。

① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額（円）
46	9,053,800	8,138,800

② 就職準備金貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額（円）
30	6,756,306	6,756,306

(10) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする「ひとり親家庭の親」を支援するため入学準備金や就職準備金の貸付事業を実施しました。

貸付種類	貸付決定件数（件）	貸付決定額(円)	貸付金送金額（円）
入学準備金	9	4,500,000	4,500,000
就職準備金	10	2,000,000	4,000,000

(11) 社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入れを行いました。

〔期間〕 8月19日～9月20日のうち24日間

〔人数等〕 3人（西南学院大学、福岡県立大学）

(12) 施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付しました。

〔対象〕 1法人・1施設      〔補助金額〕 110,100円

(13) 寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進（共同募金配分、施設・団体助成事業等）

① 寄付受入・配分事業

i) 寄付の受入

本会に寄せられた寄付の受入れを行い、寄付者の意向に沿って本会事業で活用しました。

[都度の寄付]

区分		件数 (件)	金額 (円)
市域の事業	市域の事業	73	8,041,051
区域の事業	① 東区	6	265,263
	② 博多区	9	303,355
	③ 中央区	3	60,600
	④ 南区	6	251,260
	⑤ 城南区	7	361,100
	⑥ 早良区	7	279,248
	⑦ 西区	4	56,350
		小計	42
合計		115	9,618,227

[毎月の寄付 (マンスリーサポーター)]

区分	件数 (件)	金額 (円)
市社協事業全般	869	2,185,000

(マンスリーサポーター：79人)

[寄付物品等]

主な物品名	件数 (件)	金額 (円)
車いす、パソコン、食料 他	5	606,980

ii) 福祉団体への助成

市に寄せられた寄付金(補助金)を財源に、施設・団体助成事業助成金として団体に配分を行いました。

[件数] 3団体 [配分金額] 361,566円

② 福岡市母子福祉会芙蓉基金ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行いました。

[助成団体] 4団体 [助成額] 454,645円

③ 歳末たすけあい募金配分事業

歳末たすけあい募金の配分を受け、子育て支援団体等が開催する事業等に助成しました。

事業区分	対象者・団体	件数 (件)
助成事業	子育て支援団体	119
	障がい児者支援団体	70
	社会的課題支援団体	9
	交通遺児支援団体	1
助成事業	里親支援団体	1
	地域活動支援センター	8

事業区分	対象者・団体	件数 (件)
社会的課題支援事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ配布)	5 (1,776 パック)

#### (14) 車いす等の貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の外出、通院、社会参加等を支援するとともに、学校・団体等の福祉体験学習等の福祉教育に資するため、車いす等を貸し出しました。

### 7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成
- (2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ(自助)グループへの支援
- (3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化
- (4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置
- (5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図りました。

① 貸付件数、資金種別相談件数【附属明細書：P.27(別表12)参照】

#### (6) 生活保護世帯等一時貸付金事業(福岡市委託事業)

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付けを行いました。

区分	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	2,236	24,065,500	22,708,000
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	0	0	0
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	0
合計	2,236	24,065,500	22,708,000

### 8. 運営等及びその他

#### (1) 会務の運営(理事会・評議員会等)【附属明細書：P.28(別表13)参照】

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 評議員選任・解任委員会の実施
- ③ 監査の実施

#### (2) 各区運営部会の開催【附属明細書：P.30(別表14)参照】

校区社協や民生委員、福祉施設関係者との連携・協働を図り、各区の事業推進や課題等について、地域性や実情を踏まえて審議するため、各区運営部会を開催しました。

#### (3) 各区校区社協会長会等の開催

校区社協との連携・協働により、地域福祉の推進を図ることを目的として、市域での地域福祉部会及び各区校区社協会長会を開催しました。また、民生委員、社会福祉施設関係者との連携・協働を図るため、民生委員児童委員部会及び施設部会を開催しました。

#### (4) 第6期地域福祉活動計画中間評価の実施

現行の第6期地域福祉活動計画の中間年にあたる年度であったことから「第6期地域福祉活動計画中間評価委員会」を組織し、中間評価を実施しました。

また、委員会と並行して各区校区社協会長会等の場などをとらえて意見の聴取を行い、委員会に報告しました。

実施日	協議題	委員構成 (選出母体)
9月18日 (第1回)	① 中間評価の方針について ② 中間評価の方法について ③ 中間評価にあたり留意すべき社会情勢・政策動向について ④ 重点項目の進捗状況・自己評価について	校区社協 民児協 自治協 社会福祉法人
12月18日 (第2回)	① 中間評価の方法について (一部変更) ② 重点項目の進捗状況・自己評価について	学識経験者 行政機関
2月10日 (第3回)	① 評価委員会及び部会等における意見と委員会評価(案)について ② 中間評価報告書(案)について	福岡市社協

#### (5) 職員の資質向上と人材育成(職員研修、資格取得への支援)

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めました。また、メンター制度を実施し、若手職員等のキャリア形成上の課題解決を援助し、個人の成長を支えるとともに、職場内での問題解決をサポートする体制づくりを行いました。

#### (6) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用しました。

#### (7) 財源の確保(会員の拡充、寄付つき商品の開発等)

寄付つき商品の仕組みを運用するなど自主財源の確保に努めました。

##### ① 寄付つき商品の開発

社会貢献を希望する企業等とともに、本会への寄付つき商品を開発しました。今年度は、新たに2社と協定を締結しました。

〔実績〕

企業名	寄付内容	実績
株式会社ライフエッジ 【覚書締結日】 平成26年3月18日	地域課題のお片付けプロジェクト 福祉関係者からの相談による家財片付け遺品整理引越し1件につき1,000円寄付	72件 72,000円
翼行政書士・ 社会福祉士事務所 【覚書締結日】 平成26年12月4日	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼1件につき200円寄付	202件 40,400円
株式会社QTnet 【覚書締結日】 平成28年5月19日	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき10円寄付 ※令和元年10月から、寄付額=本数×9.26円(税抜)×1.1	9,940本 101,257円
株式会社 大原キャリアスタッフ九州 【覚書締結日】 平成30年11月19日	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げの2%寄付	1件 7,112円
一般社団法人えにし 【覚書締結日】 令和1年8月6日	「あんしん身元保証プロジェクト」 身元保証の契約1件につき2,000円寄付	136件 272,000円
株式会社福豊堂 【覚書締結日】 令和5年11月29日	「笑顔の種プロジェクト」 「12種の豆菓子MIX」の売り上げの3%寄付	16,697件 180,063円

企業名	寄付内容	実績
合同会社 トラベルケアふくおか 【覚書締結日】 令和6年4月22日	福岡市の新しい旅のカタチ 介護付き旅行 介護付き旅行プランの売上1件につき200円	75件 15,000円
合計		687,832円

※平成25年7月事業開始からの累計8,802,953円

[新規]

企業名	寄付内容
合同会社 トラベルケアふくおか 【覚書締結日】 令和6年4月22日	福岡市の新しい旅のカタチ 介護付き旅行 介護付き旅行プランの売上1件につき200円
ユイモクヤ株式会社 【覚書締結日】 令和7年3月28日	SDGs 社会循環お片付けプロジェクト 生前、遺品整理の施行1件につき1,000円

## ② その他の財源の確保

内訳	金額 (円)
会費 (正会費)	1,803,000
会費 (賛助会費)	25,189,900
広報紙広告	640,000
車いす等貸出料	13,300
外部講師謝礼	1,184,000
実習生受入謝礼	144,000
使用済み切手売却益	151,850
合計	29,126,050

## (8) 収益事業の実施 (市民福祉プラザレストラン運営、自動販売機の設置)

市民福祉プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用しました。

## (9) その他の社協事業

### ① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中で亡くなられた人の冥福を祈り、福岡市と共催で「福岡市戦没者合同追悼式」を実施しました。

実施日	会場	参加者 (人)
6月19日	福岡市庁舎1階ロビー	73

### ② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動을続け、その功績が顕著な個人、団体に対し表彰を行いました。

〔福岡市社会福祉協議会会長 表彰〕 155人・39団体

〔福岡市社会福祉協議会会長 感謝状〕 180人・31団体

### ③ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を中立公正な立場から、あっせん・調整を行う苦情解決第三者委員を選任し、周知しました。

④ 友愛訪問事業への助成

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行いました。

〔助成額〕 2, 098, 716円

⑤ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、助成を行いました。

〔助成団体数〕 3団体 〔助成額〕 1, 830, 000円

⑥ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し、福岡市の補助金を財源として活動費の助成を行いました。

〔助成箇所数〕 10か所 〔助成額〕 2, 940, 000円

# 令和6年度 事業報告

## 【附属明細書】

・別表 1	子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）	1
・別表 2	地域が主体の買い物支援	5
・別表 3	終活出前講座	7
・別表 4	成年後見出前講座	9
・別表 5	福岡市市民後見人養成研修	10
・別表 6	家族介護者のつどい	11
・別表 7	視察の受入	12
・別表 8	講演等の依頼	15
・別表 9	校区社協の運営及び事業に対する助成・支援	23
・別表 10	市民福祉プラザ貸室等利用状況	24
・別表 11	民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	25
・別表 12	生活福祉資金貸付事業	27
・別表 13	会務の運営	28
・別表 14	部会の開催	30

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和7年3月31日現在のもの。

別表1 子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）

校区名・地区名		活動名称	主な機能			
			居場所	食事提供	学習支援	
東 (29)	1	美和台	ななカフェ♡こども食堂	○	○	
	2	和白東	アソシエキッズわひがのWa	○	○	
	3		WAN1（わんわん）こども地域食堂	○	○	
	4	香住丘	香住丘すまいるキッチン	○	○	
	5		夜の香住っ子ひろば	○	○	
	6	香椎下原	しもばる広場	○	○	
	7		みんな食Minna	○	○	○
	8		まちスポ福岡東ちょこサポ		○	
	9	香椎	えがお広場	○	○	
	10	香椎東	愛い空食堂	○	○	
	11	香椎浜	かしいはま子どもの家ぽてとはうす	○	○	
	12	若宮	フリースペース若宮	○	○	
	13	舞松原	舞♥myキッチン	○	○	
	14	青葉	なかよしキッチン	○	○	
	15	多々良	ベリーベリーグッドランド	○	○	
	16		まちかど図書館	○	○	
	17		みんな食堂・みんなの居場所	○	○	
	18		まちかど食堂	○	○	
	19	名島	ふくふく子ども食堂	○	○	
	20		名島元気もりもりハウス	○	○	○
	21		ほばしらみんなのふね	○	○	
	22	箱崎	ぽあんの樹	○	○	○
	23		寺子屋わくレオはうす	○	○	○
	24		はこざきカフェ こども食堂	○	○	
	25	筥松	はらだ2丁目食堂	○	○	○
	26		筥松校区ハコハコ子ども広場	○	○	
	27	松島	みんなの食堂	○	○	
	28	馬出	「子どもサポート・ナルド」馬出こども食堂	○	○	○
	29	照葉	照葉っ子広場	○	○	○
博多 (23)	1	御供所	御供所3-17食堂	○	○	○
	2		りあん	○	○	○
	3		福岡国際子ども食堂&居場所	○	○	○
	4	大浜	おおはま寺子屋			○
	5		キッズキャンパス&子ども食堂	○	○	
	6	奈良屋	オレズ・マガラズこどもしょくどう	○	○	
	7	冷泉	ちいき食堂ユウアヒア	○	○	
	8	東住吉	麻生塾子ども食堂	○	○	

校区名・地区名		活動名称	主な機能			
			居場所	食事提供	学習支援	
博多 (23)	9	千代	四季のいろ子ども食堂	○	○	○
	10	堅粕	ワンコインレストラン「ハーモニー」	○	○	
	11		あすちる食堂	○	○	
	12		おかもと食堂		○	
	13	吉塚	福岡国際子ども食堂&居場所	○	○	○
	14		みらいあんこども食堂	○	○	○
	15	東吉塚	東吉塚学習支援「なないろ」			○
	16	那珂	山王学舎子ども食堂	○	○	○
	17	弥生	やよいの森	○		
	18	板付	板付ふれあい子ども食堂	○	○	
	19		みんな あつまれ！！とみひろ食堂		○	
	20	板付北	いたきたこども食堂	○	○	
	21	那珂南	なかみなみわいわい食堂	○	○	○
	22	席田	学習支援	○		○
23	げんき堂こども食堂		○	○		
中央 (21)	1	春吉	yummys		○	
	2	警固	夢食堂		○	
	3		キラキラえがおFukuoka	○		○
	4		みんなで本とおはなし会・100人カレー警固	○	○	
	5	大名	グランマキッチンカフェ	○	○	
	6	赤坂	多機能型子ども支援拠点（赤坂）	○	○	○
	7		和食笠 子ども食堂	○	○	
	8		ぴーす子ども食堂	○	○	
	9		KATARU赤坂店子ども食堂	○	○	
	10	舞鶴	100人カレー舞鶴（みんなのまいづるカレー食堂）	○	○	
	11	簗子	子ども食堂絆	○	○	○
	12	当仁	海と空のひろばいっしょごはん	○	○	○
	13		まるけん子ども食堂		○	
	14		海鮮食堂 鮭寅	○	○	○
	15		大濠ふれあい食堂	○	○	○
	16	南当仁	みなっち食堂	○	○	
	17	平尾	こども食堂CIRCLE	○	○	○
	18		ひだまり食堂	○	○	
	19	笹丘	笹丘校区ふれあい食堂	○	○	○
	20		わくわく広場	○	○	○
	21		たんぽぽこども食堂	○	○	○

校区名・地区名		活動名称	主な機能			
			居場所	食事提供	学習支援	
南 (21)	1	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	2	大池	大池子ども食堂	○	○	
	3	長住	子ども勉強広場	○	○	○
	4		きん哉子ども食堂		○	
	5		みらいあんこども食堂 in 長住	○	○	
	6	西長住	みんなのサロン	○	○	○
	7	西花畑	ひばるん子ども食堂	○	○	○
	8		花っ子みんなの食堂	○	○	○
	9	花畑	ひかり食堂	○	○	
	10		花畑みんなの食堂	○	○	○
	11	柏原	ふれあい食堂	○	○	
	12	鶴田	いただきます (つるたパラデロ)	○	○	○
	13	野多目	NPO子どもあった丸 いるか食堂	○	○	○
	14	三宅	子育て世帯 (ひとり親世帯) フードお助け隊		○	
	15		ハレルヤ食堂	○	○	○
	16	若久	リカバリーセンターふくおか	○	○	
	17	東若久	子どものための自学室	○		○
	18		町内自学塾	○	○	○
	19	弥永	100人カレー弥永	○	○	
	20	弥永西	やにしわけっこマルシェ		○	
	21		地域でつくる学童保育 ツリーハウス	○	○	○
城南 (13)	1	鳥飼	SOMPO流こども食堂	○	○	
	2	別府	別府子ども食堂		○	
	3		朝の元気は、朝食から!		○	
	4		キッチンしろくま	○	○	○
	5	田島	ちゃちゃの会	○		
	6	長尾	わくわくレストラン	○	○	
	7		長尾じじばばこども食堂	○	○	
	8		カトレア子ども食堂		○	
	9		神松寺子ども食堂	○	○	○
	10	堤丘	子ども食堂心笑食堂	○	○	○
	11	堤	であい子ども食堂	○	○	
	12	西長住	☆あすたーほっこりこども食堂☆	○	○	
	13	七隈	ななっこ料理道場	○	○	

校区名・地区名		活動名称	主な機能			
			居場所	食事提供	学習支援	
早良 (16)	1	西新	bao・bab子ども食堂	○	○	○
	2	高取	EL Paraiso 食堂	○	○	○
	3	室見	室見子ども食堂オルカ	○	○	○
	4	大原	大原すまいるキッチン	○	○	○
	5	小田部	あったかキッチンinこたべ	○	○	
	6	飯原	I♡いいはらキッチン	○	○	
	7	原西	原四つ角こころ子ども食堂	○	○	○
	8	飯倉	こころ食堂	○	○	○
	9		ひだまりキッチン	○	○	○
	10	有田	こども食堂さい	○	○	
	11	賀茂	かるがも子ども食堂	○	○	
	12	野芥	つくって食べよう土曜昼!	○	○	○
	13	四箇田	さわら子ども食堂	○	○	
	14	入部	みんなのおうちゆい	○	○	○
	15	早良	Connect Café (コネクトカフェ)	○	○	
	16	内野	こども食堂YOKAYOKA	○	○	○
西 (14)	1	愛宕	みんなかふえ・あたご	○	○	
	2		豊浜フリースペース	○	○	
	3	内浜	ジョイプレイス福岡	○	○	
	4		マミスマテーブルの月イチ子ども食堂	○	○	
	5	西陵	子ども食堂	○	○	
	6		寺子屋せいりょう	○		○
	7	城原	地域食堂「タベルバ」	○	○	○
	8		こども食堂わきた	○	○	
	9	石丸	石丸食堂	○	○	
	10	壱岐南	学viva	○	○	○
	11		レインボーキッチン	○	○	
	12	壱岐東	子ども食堂「いきひがし」	○	○	
	13	今宿	ひまわりさんさん広場	○	○	
	14	元岡	こもれび ～ゆかいな仲間たち～	○		
合計			137	124	128	56

別表2 地域が主体の買い物支援

区	校区 地区	自治会・町内会（※）	内容	協力企業・施設等	開催 延べ回数	
東 (17)	1	青葉	みどりが丘1～3丁目自治会	買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社、光薫福祉会	12
	2		土井団地2区自治会	臨時販売	久本青果、特別養護老人ホームなごみの里・つくしの里	12
	3		青葉台自治会		久本青果、(株)ふくや、あおやぎ生花店、特別養護老人ホームなごみの里・つくしの里	12
	4		青葉市住団地	移動販売	筑前はかたや	40
	5	八田	若宮1-1自治会 若宮1-2自治会	買い物先への送迎	特別養護老人ホーム光薫寺ビハラー	12
	6		緑ヶ丘自治会			11
	7	香椎浜		買い物同行	ボランティアグループ	2
	8	香椎東		買い物先への送迎	ボランティアグループ	24
	9		松香団地自治会/香椎宮前団地自治会/宮の台自治会	移動販売	ばんぶーおりぢなる	48
	10	城浜		移動販売	筑前はかたや	64
	11	多々良	大橋浜田自治会	買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	8
	12	若宮		買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	8
	13	香住丘		買い物先への送迎	さんすまいる唐原、香椎ヶ丘リハビリテーション病院、杜の家、デイサービス東、エブリワンズ・ストーリー、たかもとホームクリニック、CoCo.com、あおぞらの里、訪問看護ステーションしんゆう	152
	14	美和台		移動販売	筑前はかたや	103
	15	奈多	雁の巣自治会	買い物先への送迎	東福岡和仁会病院	12
	16	名島	名島県住公社	移動販売	筑前はかたや	69
	17	舞松原		移動販売	筑前はかたや、木下鮮魚店「うおしげ」	11
博多 (8)	1	席田	大井町内	移動販売	久本青果	47
	2		東平尾町内			50
	3	東光	東比恵	移動販売	ポパイ	50
	4		東比恵	移動販売	医療法人ながら医院、もりもり商店、ひよこ本舗吉野堂、うさばんべーカリー	23
	5	月隈	金隈新町	買い物先への送迎	医療法人相生会金隈病院	24
	6	東月隈	下月隈団地	買い物先への送迎	アットホーム博多の森、あおやぎ	15
	7			臨時販売	筑前はかたや、(株)ふくや、あおやぎ、お肉の大ちゃん、石村萬盛堂、ひらぎさんのおいも、株式会社WASEI、五ヶ山豆腐	24
	8		月隈東団地	移動販売	もりもり商店	20
8	東吉塚	吉塚8丁目自治会	移動販売	筑前はかたや	31	
中央 (3)	1	小笹	小笹1丁目 小笹3丁目2区	買い物先への送迎	Reful株式会社	24
	2		小笹県住公社（小笹団地）	移動販売	筑前はかたや	70
	3	笹丘	輝国/小笹4丁目/笹丘3丁目	買い物先への送迎	Reful株式会社	23

区		校区 地区	自治会・町内会 (※)	内容	協力企業・施設等	開催 延べ回数
南 (9)	1	東花畑		買い物先への送迎	総合葬祭西日本典礼	12
	2			移動販売	筑前はかたや	53
	3	長丘		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	6
	4	西高宮		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	6
	5	鶴田	鶴田3区町内会	移動販売	筑前はかたや	51
	6			買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館、総合葬祭西日本典礼、ささえあい太陽	11
	7	柏原		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館 ボランティアグループ	11 56
	8	西花畑		買い物先への送迎	デイサービス絵日記	2
	9	高木	高木団地町内会	移動販売	株式会社新生堂薬局	40
城南 (1)	1	堤	東油山6丁目	買い物先への送迎	株式会社メモリード	6
早良 (5)	1	入部	さわら台団地	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	21
	2		重留3丁目	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	11
	3		重留3丁目自治会	移動販売	株式会社とくし丸	52
	4	早良		買い物先への送迎	さわら南よかここネット	47
	5	脇山	椎原町内	買い物先への送迎	さわら南よかここネット	49
西 (4)	1	能古		移動販売	アイランドパーク、能古の市	48
	2	壱岐	ウエストヒルズ自治会・ネアシティガーデン自治会	移動販売	移動スーパーいと丸くん	24
	3		生松台自治会	移動販売	移動スーパーいと丸くん	33
	4	金武	吉武・飯森・羽根戸地区	買い物先への送迎	林ホールディングズ株式会社	21
合計			47地区			1,561

※自治会・町内会欄が空欄のところは、校区を範囲として実施

※自治会・町内会欄に複数の地域が記載されているところは、複数の自治会・町内会にまたがって実施

**別表3 終活出前講座**

No	実施日	対象団体・会合名等	開催場所	参加者（人）
1	5月8日	東区健康課	東区保健福祉センター	12
2	5月9日	愛宕浜校区社協	愛宕浜公民館	20
3	5月9日	警弥郷2丁目3区町内会	上警固団地集会所	21
4	5月11日	西春町西寿会	西春町会館	20
5	5月14日	きらく会	UR諸岡集会所	12
6	5月15日	那珂南公民館	那珂南公民館	43
7	5月26日	ふれあいサロン元気会	千代1丁目住宅集会所	21
8	5月28日	下臼井町なかよしサロン	下臼井町会館	15
9	5月30日	西日本シティ銀行	西日本シティ銀行 α天神	32
10	6月11日	奈良屋校区社協	奈良屋公民館	33
11	6月20日	オレンジカフェ西高ゆるり	特別養護老人ホーム市崎の杜	10
12	6月26日	日佐校区社協	日佐公民館	14
13	7月7日	西花畑校区社協	西花畑公民館	16
14	7月12日	ふれあいサロン花野	春住公民館	25
15	7月13日	堤地区社協	堤公民館	50
16	7月16日	冷泉老人クラブ連合会	冷泉老人いこいの家	21
17	7月19日	一般社団法人実践倫理宏正会	福岡実践倫理会館	30
18	7月23日	ろうあ協会 手話サロン	市民福祉プラザ	28
19	7月24日	城南公民館	城南公民館	19
20	7月24日	なみきクラブ	なみきスクエア	15
21	7月27日	ファイザー株式会社 OB会	みんなの貸会議室天神西通り北店	24
22	8月21日	弥永西校区シニアクラブ連合会	弥永西公民館	23
23	9月7日	田島校区社協	田島公民館	37
24	9月7日	田島校区社協	ケアタウン茶山	19
25	9月8日	西 げんき会	障がい者西フレンドホーム	10
26	9月11日	西区オレンジフェスタ	西区保健福祉センター	40
27	9月13日	介護実習普及センター	市民福祉プラザ	56
28	9月20日	高美台町内会	高美台集会所	15
29	9月20日	和白丘ほっこりサロン	コアマンション集会所	10
30	9月24日	堅粕公民館	堅粕公民館	30
31	10月3日	福岡手話の会 西支部	西市民センター	23
32	10月10日	原西公民館	原西公民館	22
33	10月11日	東油山サロン”もみじ”	東油山町会館	12
34	10月15日	中央区地域保健福祉課	あいれふ	40
35	10月17日	長丘校区社協	長丘公民館	35
36	10月18日	よろいだ集遊館	鎧田町内会館	10
37	11月6日	相続サポートセンター	福岡証券ビル	20
38	11月20日	博多第1いきいきセンター	御供所公民館	30

No	実施日	対象団体・会合名等	開催場所	参加者（人）
39	11月28日	西日本シティ銀行 六本松支店	西日本シティ銀行 六本松支店	18
40	12月2日	笹の会	井尻3丁目南会館	20
41	12月4日	西日本シティ銀行	西日本シティ銀行 α天神	4
42	1月8日	長住団地自治会	UR長住団地集会所	25
43	1月18日	西日本シティ銀行	西日本シティ銀行 α天神	30
44	1月20日	博多市民センター	博多市民センター	33
45	1月22日	介護実習普及センター	市民福祉プラザ	37
46	1月23日	西日本シティ銀行 長住支店	西日本シティ銀行 長住支店	15
47	1月27日	高齢社会を考える会	警固公民館	6
48	1月29日	東区民児協高齢者部会	なみきスクエア	26
49	1月30日	東区第6いきいきセンター	市営住宅集会所	15
50	2月14日	老人クラブ福寿会	西干隈公民館	25
51	2月24日	サロン「いずみ」	若久公民館	25
52	2月28日	しろうおサロン	しろうお集会所	23
53	3月4日	中央区老人クラブ連合会	市民福祉プラザ	80
54	3月4日	井尻4丁目シニアクラブ	井尻4丁目会館	12
55	3月5日	城南区老人クラブ連合会	城南市民センター	50
56	3月8日	博多障がい者フレンドホーム	博多障がい者フレンドホーム	10
57	3月14日	ふれあいサロンさつき会	きよみ立体橋の下	25
58	3月20日	大橋団地シニアクラブ 寿会	大橋団地集会所	15
59	3月28日	福岡手話の会 早城支部	早良市民センター	16
合計			59件	1,423

**別表4 成年後見出前講座**

実施日	依頼団体	開催場所	参加者（人）
5月18日	社会福祉法人藤の実会ケアハウスにじの森	ケアハウスにじの森	45
6月11日	博多区民生委員児童委員協議会	博多区役所	70
6月20日	中央区第1地区民生委員児童委員協議会	舞鶴公民館	30
7月12日	南区民生委員児童委員協議会	福岡市男女共同参画推進センターアミカスホール	100
2月12日	南区高木校区社協	高木公民館	30
2月25日	西区玄洋校区社協	玄洋公民館	25
3月15日	しののめ福祉会	就労継続支援B型事業所しののめ	15
3月28日	早良区第9地区民生委員児童委員協議会	田村公民館	30
合計		8件	345

## 別表5 福岡市市民後見人養成研修（全26科目）

受講者数：10名

日程	日程	科目
1日目	9月14日	開講式・オリエンテーション
		市民後見概論
		対人援助の基礎
		日常生活自立支援事業の概要
2日目	9月21日	成年後見制度の基礎①（制度概論、法定後見制度）
		成年後見制度の基礎②（任意後見制度）
		民法の基礎（家族法・財産法）
3日目	9月30日	福岡市の福祉制度① 高齢者施策
		高齢者虐待防止法
		福岡市の福祉制度② 障がい者施策
		障害者虐待防止法・障害者権利条約・差別解消法
		関係制度① 生活保護・生活困窮者自立支援制度
4日目	10月5日	対象者の理解（知的障がい・精神障がい）
		対象者の理解（認知症） ※福岡市認知症フレンドリーセンター見学
5日目	10月10日	関係制度② 公的医療保険制度・年金制度
		家庭裁判所の役割
		市民後見活動の実際
		前半の振り返り
6日目	10月19日	成年後見の実務① 一般事務(身上保護)
		成年後見の実務② 意思決定支援
7日目	11月2日	成年後見の実務③ 開始の申立・就任時の事務
		成年後見の実務④ 一般事務(財産管理)
8日目	11月9日	成年後見の実務⑤ 不定期・特別な事務・報告・申立
		成年後見の実務⑥ 終了時の事務
9日目	11月16日	地域福祉活動と社会資源
		終活～これからの人生をより良く生きるために
		中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制
		研修の振り返りと今後の活動について
		閉講式

別表6 家族介護者のつどい

区	校区・団体	会場	実施日	参加者(人) (介護者のみ)	
東 (7)	1	東区小規模多機能 ネットワーク	なみきスクエア	5月14日	72 (23)
	2		香住丘公民館	8月24日	
	3		なみきスクエア	11月19日	
	4		野村貝塚ガーデンシティ	2月13日	
	5	西戸崎	西戸崎公民館	7月24日	44 (9)
	6			11月27日	
	7			2月27日	
博多 (3)	1	板付北	板付北会館	8月22日	31 (3)
	2	弥生	弥生公民館	10月24日	19 (5)
	3	那珂南	那珂南公民館	6月22日	34 (10)
中央 (1)	1	中央区社協	春吉公民館	3月6日	9 (4)
南 (10)	1	大楠	大楠公民館	6月20日	24 (12)
	2			10月17日	
	3			2月13日	
	4	野多目	野多目公民館	11月22日	17 (7)
	5	横手	横手公民館	8月23日	35 (8)
	6			2月14日	
	7	西花畑	西花畑公民館	6月4日	50 (6)
	8			8月3日	
	9			10月17日	
	10			1月17日	
城南 (12)	1	七隈	七隈公民館	7月6日	22 (11)
	2			10月26日	
	3			1月25日	
	4	城南区社協	城南区役所別館	7月5日	25 (11)
	5			12月6日	
	6	田島	よりあいの森 古民家	5月18日	44 (15)
	7			7月20日	
	8			9月21日	
	9			11月16日	
	10			1月18日	
	11			3月15日	
	12	長尾	長尾公民館	11月7日	18 (7)
早良 (3)	1	飯原	飯原公民館	6月5日	63 (3)
	2			8月7日	
	3			12月4日	
西 (1)	1	周船寺	周船寺公民館	11月16日	13 (7)
合計				37	520 (141)

## 別表7 視察の受入

### (1) 社協

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
1	6月28日	大分県中津市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	2
2	7月5日	大阪府大阪市城東区社会福祉協議会	死後事務委任を含む終活相談事業の安定的運営について	3
3	7月9日	山口県防府市社会福祉協議会	見守り・訪問活動、ふれあいサロン等の活動について	23
4	7月30日	春日市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業について	5
5	11月28日	岩手県社会福祉協議会 市町村社会福祉協議会部会	終活サポートセンター事業、ファンドレイジング事業、社会貢献型空家バンク事業について	17
6	11月29日	久留米市社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業の安定的な運営について	4
7	12月3日	富山県高岡市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	4
8	12月5日	北海道札幌市社会福祉協議会	終活サポートセンター、災害ボランティアについて	5
9	12月20日	福津市 福津市社会福祉協議会	福岡市成年後見推進センターの業務内容について	6
10	1月21日	鹿児島県薩摩郡さつま町社会福祉協議会	終活サポートセンター事業について	3
11	1月30日	山口県宇部市社会福祉協議会	福岡市社協の取組みについて	4
12	2月10日	大阪府豊中市社会福祉協議会	終活支援と遺贈による寄付について	5
13	3月21日	久留米市 久留米市社会福祉協議会	終活サポートセンター事業、福岡市成年後見推進センターについて	4
小計				85

### (2) 団体

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
14	10月9日	社会福祉法人南光福社会	終活サポートセンター事業について	13
小計				13

### (3) 行政・議会関係

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
15	4月12日	北九州市保健福祉局 北九州市成年後見支援センター	福岡市成年後見推進センターの業務内容について	4
16	4月18日	宮城県登米市議会	社会貢献型空家バンク事業について	12
17	4月24日	福岡市福祉局	福岡市成年後見推進センターの業務内容、役割について	20
18	5月13日	沖縄県国頭郡今帰仁村議会	終活サポートセンター事業について	1
19	7月8日	東京都北区議会事務局	終活サポートセンター事業について	4
20	7月17日	東京都三鷹市議会自民クラブ	住まいサポートふくおか事業、社会貢献型空家バンク事業について	7
21	7月17日	兵庫県こうべ未来市会議員団	終活サポートセンターについて	6
22	7月17日	兵庫県こうべ未来市会議員団	住まいサポートふくおか事業、社会貢献型空家バンク事業について	6
23	8月1日	長野県松本市議会事務局	終活サポートセンター事業について	11
24	11月8日	和歌山県海南市議会 教育厚生委員会	有償ボランティアについて (生活支援ボランティアグループ)	8
25	11月29日	鳥取県日南町福祉保健課	終活サポートセンター事業、住まいサポートふくおか事業について	1
26	3月25日	千葉県流山市議会事務局	終活サポートセンター事業について	1
小計				81

### (4) 大学、研究機関

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
27	9月3日	高崎経済大学 地域政策学部	終活サポートセンター事業について	1
28	10月22日	既存住宅の福祉転用に関する研究班	社会貢献型空家バンク事業について	4
小計				5

(5) その他

No	日付	団体名	視察内容	人数 (人)
29	8月28日	光山（グァンサン）区ボランティアセンター	ボランティア活動について	31
30	9月4日	大田広域市社会サービス院	大田市老人福祉政策の発展のための “日本と韓国の高齢者福祉懇談会”	20
31	9月9日	台湾嘉義県政府関係者	地域福祉活動について	17
32	2月13日	個人事業主	終活サポートセンター事業について	1
小計				69
合計				253

## 別表8 講演等の依頼

### (1) 地域（福岡市内）

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
1	6月3日	東区民生委員児童委員協議会	新任研修 社会福祉協議会の活動について	12
2	6月19日	城南区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	災害に向けたネットワークづくり	80
3	7月9日	西区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	地域で構築するふれあいネットワークづくりについて	60
4	7月11日	南区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	福岡市社会福祉協議会について 地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	105
5	8月27日	西区第9地区民生委員児童委員協議会	生活福祉資金に係る民生委員の役割等について	31
6	9月14日	香椎東校区人権尊重推進協議会	認知症や介護についての講話	40
7	9月30日	博多区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	見守りマップの作成について	66
8	10月1日	千早西公民館	ユマニチュード地域講座	60
9	10月10日	中央区第3地区民生委員児童委員協議会 自立支援部会	生活困窮者支援制度について	8
10	10月10日	西区民生委員児童委員協議会 地域福祉部会	地域で構成するふれあいネットワークづくりについて	24
11	10月31日	福岡市民生委員児童委員協議会 自立支援部会	地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	22
12	11月22日	早良区第13地区民生委員児童委員協議会	地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	19
13	12月2日	東区民生委員児童委員協議会	新任研修 社会福祉協議会の活動について	8

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
14	12月6日	和白2区地域カフェ	ミニ手話講座	20
15	12月18日	博多区第7地区民生委員児童委員協議会	地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	12
16	1月14日	博多区民生委員・児童委員協議会	新任研修 地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	43
17	1月17日	南区第1地区民生委員児童委員協議会	地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	18
18	1月24日	博多区民生委員児童委員協議会	新任研修 地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	52
19	2月6日	城浜公民館	ユマニチュード地域講座	30
20	2月7日	東区民生委員・児童委員協議会	幹部研修 地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	61
21	2月17日	千早西公民館	ユマニチュード地域講座	17
22	2月22日	青葉校区人権尊重推進協議会	認知症や介護について	26
23	2月25日	早良区第11地区民生委員児童委員協議会	地域共生推進員の業務・活動及び民生委員との関わり	20
小計				834

(2) 社協

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
24	7月20日	品川区社会福祉協議会	職員全体研修	70
25	8月27日	岸和田市社会福祉協議会	第2回身寄りのない人への支援を考える勉強会	20
26	9月14日	福岡県社会福祉協議会	福岡県市民後見人養成研修 中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制	20
27	11月13日	苅田町社会福祉協議会	第13回苅田町社会福祉大会 暮らしの中で考える終活	230
28	12月21日	福岡県社会福祉協議会	福岡県市民後見人養成研修 中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制	20
29	1月28日	社会福祉法人半田市社会福祉協議会	半田市居住支援協議会研究会	40
小計				400

(3) 団体・企業

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
30	6月20日	東第3障がい者基幹相談支援センター	こころねっとかこむネットワーク研修会 成年後見制度、成年後見推進センターについて	45
31	6月26日	福岡市地域包括ケア推進課	福岡市権利擁護研修 成年後見推進センターについて	110
32	7月16日	博多第7地域包括支援センター	博多第7いきいきセンター圏域ケアマネ会 成年後見制度、成年後見推進センターについて	20
33	7月30日	ふくおか健康友の会東支部	ユマニチュード地域講座地域講座	15
34	7月31日	一般社団法人全国レガシーギフト協会	遺贈研修会	20

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
35	7月31日	福岡市介護実習普及センター	一緒に歩むための認知症介護講座 認知症の人の暮らしを守るための支援	40
36	9月16日	全国子ども食堂支援センター・むすびえ	遺贈寄付ウィーク2024特別企画 終活はじめの一步	33
37	9月21日	高機能自閉症・アスペルガー症候群 等の子供を持つ親の会「あすなる」	将来に備えるための保護者勉強会	40
38	10月3日	酒田市地域包括支援センター等庄内連絡会	域内センター職員による終活研修会	70
39	10月25日	南区ソーシャルワーカー連絡協議会	第1回南区ソーシャルワーカー連絡協議会 成年後見制度、成年後見推進センターについて	45
40	10月27日	ローカルガバナンス研究会	ローカルガバナンス研究会	6
41	10月29日	ヒューマンアカデミー株式会社	福岡県子育て支援員講習	23
42	11月8日	西日本シティ銀行	資産承継レベルアップ研修	200
43	11月8日	株式会社日本能率協会総合研究所	高齢者住まい・生活支援伴走支援及び広報啓発 事業 島根県安来市研究会	35
44	11月13日	福岡市障がい者更生相談所	福岡市障がい者更生相談所所内研修 成年後見制度、成年後見推進センターについて	5
45	11月14日	南区第2地域包括支援センター	圏域会議 終活を基点とした多職種連携	50
46	11月21日	福岡鶴城ライオンズクラブ	福岡市社協における子どもの居場所（子ども 食堂）支援の取組について	25
47	11月26日	中央区第1地域包括支援センター	圏域事業所勉強会 終活を基点とした多職種連携	44
48	11月26日	中央第1地域包括支援センター	中央第1圏域事業所研修 成年後見制度、成年後見推進センターにつ いて	44

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
49	12月6日	福岡市立心身障がい福祉センター	福岡市立心身障がい福祉センターリハビリテーション係内研修 成年後見制度、成年後見推進センターについて	16
50	12月9日	社会福祉法人 ふくおか福祉サービス協会	地域包括ケア実践促進講座	30
51	12月12日	NPO法人いるか	飯塚市子ども食堂コーディネーター事業活動報告	26
52	12月18日	城南第4地域包括支援センター	城南第4地域包括支援センター連携会議 成年後見制度、成年後見推進センターについて	30
53	1月14日	ヒューマンアカデミー株式会社	福岡県子育て支援員講習	25
54	1月19日	全国重症心身障害児（者）を守る会	将来に備えるための保護者勉強会	50
55	1月22日	奈良県市町村福祉事務研究協議会	身寄り問題研修会	30
56	2月5日	福岡オトナビコーディネーター	地域福祉活動の理念と実際	8
57	2月10日	南区第10地域包括支援センター	圏域会議 終活を基点とした多職種連携	20
58	2月25日	筑後地区生活支援コーディネーターの会	SCと多様な主体との関わり方 ～福岡市の実践から～	20
59	2月26日	福岡市介護実習普及センター	一緒に歩むための認知症介護講座 認知症の人の暮らしを守るための支援	27
60	2月27日	博多区博多南こどもプラザ	子育てサポーター養成講座 ボランティアについて	5
61	2月27日	一般社団法人 福岡県医療ソーシャルワーカー教会	福岡医療ソーシャルワーカー教会 福岡地区勉強会 「地域共生社会について～福岡市社協の取り組み～」	52
小計				1,209

## (4) 行政関係

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
62	7月13日	重層的支援研究会事務局	重層支援研究会	50
63	8月7日	福岡市福祉局福岡100推進課	福岡100ラボmeet up!第6回『「地域の中でみんながつながる社会」へアップデート!』	40
64	9月13日	西区保護課	成年後見制度、成年後見推進センターについて	9
65	10月3日	城南区保護課	成年後見制度、成年後見推進センターについて	15
66	10月16日	福岡家庭裁判所	成年後見制度、成年後見推進センターについて	90
67	11月6日	早良区保護課	成年後見制度、成年後見推進センターについて	24
68	11月7日	南区保護課	成年後見制度、成年後見推進センターについて	11
69	11月19日	竹原市市民福祉部地域支えあい推進課	広島県都市福祉事務所長会議	30
70	11月21日	東区保護課	成年後見制度、成年後見推進センターについて	23
71	11月26日	福岡家庭裁判所	家事関係機関との連絡協議会/成年後見推進センターについて	60
72	12月12日	城南区健康課精神保健福祉係	こころの病家族講座 日常生活自立支援事業と社会福祉協議会について	6
73	1月17日	福岡市福祉局地域福祉課	買い物支援の取組みについて	60
74	1月28日	博多区保護課	成年後見制度、成年後見推進センターについて	30
小計				448

## (5) 学校関係、学会等

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
75	4月29日	純真学園大学	ボランティア活動について	444
76	5月23日	福岡大学医学部看護学科	地域福祉活動の理念と実際 ～地域共生社会の実現を目指す福岡市社協 の取り組み～	108
77	10月9日	長崎県立口加高等学校	高齢者を支援する地域福祉活動の取組みに ついて	6
78	10月28日	中村学園大学	移動販売をよりよくするためには ～買い物の理解を通して～	30
79	11月25日	中村学園大学	移動販売をより良くするための 学生それぞれの課題解決案の発表	30
80	11月25日	西南学院大学	孤立・孤独と社会福祉	8
81	1月26日	福岡盲学校同窓会	卒業生研修会「より良く生きるために」	55
82	2月13日	第一薬科大学 看護学部	地域福祉活動の理念と実際 ～地域共生社会の実現を目指す福岡市社協 の取り組み～	71
小計				752

## (6) 職能団体

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
83	8月4日	社労士成年後見センター福岡	成年後見人養成研修 成年後見推進センターについて	10
84	12月5日	福岡県弁護士会	選択型実務修習（司法修習生） 成年後見推進センターについて	6
小計				16

(7) 政府関係

	日付	依頼団体	講演名・内容等	人数 (人)
85	10月29日	厚生労働省	地域共生社会の在り方検討会議	100
86	12月16日	厚生労働省	総合的な権利擁護支援策に関する研修	661
小計				761

合計				4,420
----	--	--	--	-------

別表9 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援

区	区分	助成校区数	金額（円）	備考
東	共同募金校区社協助成金	28	4,953,600	
	共同募金地区福祉事業費助成金	28	3,641,600	
	賛助会費交付金	28	4,954,000	前年度実績の50%を助成
博多	共同募金校区社協助成金	22	3,964,700	
	共同募金地区福祉事業費助成金	22	4,066,800	
中央	共同募金校区社協助成金	13	2,453,200	
	共同募金地区福祉事業費助成金	13	3,455,293	
南	共同募金校区社協助成金	25	4,468,500	
	共同募金地区福祉事業費助成金	25	4,341,800	
	賛助会費交付金	25	3,726,450	前年度実績の70%を助成
城南	共同募金校区社協助成金	11	2,048,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	11	2,718,300	
早良	共同募金校区社協助成金	24	4,139,500	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	3,493,900	
	賛助会費交付金	24	3,341,100	前年度実績の60%を助成
西	共同募金校区社協助成金	24	4,221,700	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	2,494,700	
	賛助会費交付金	19	985,500	前年度実績の50%を助成
合計			63,468,643	

別表10 市民福祉プラザ貸室等利用状況

区分		利用状況	
貸出施設	ふくふくホール	利用日数	232 日
		利用者数	30,488 人
	会議室 (3室)	利用日数	989 日
		利用者数	33,092 人
	研修室 (7室)	利用日数	2,178 日
		利用者数	86,360 人
	和室・実習室 (7室)	利用日数	1,411 日
		利用者数	28,969 人
	交流ひろば	利用日数	262 日
		利用者数	9,063 人
計	利用日数	5,072 日	
	利用者数小計	187,972 人	
その他の施設	福祉用具展示場	利用者数	10,102 人
	施設見学	団体数	35 団体
		利用者数	665 人
	ボランティアルーム等	利用件数	2,013 件
		利用者数	10,338 人
	福祉図書・情報室	開室日数	340 日
		利用者数	26,164 人
		新規登録者数	267 人
		貸出冊・本数	10,190 冊
		対面朗読	37 件
計	利用者数小計	47,269 人	
利用者総数			235,241 人
開館日数			346 日
1日平均利用者数 (利用者総数/開館日数)			680 人

## 別表 1 1 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

### (1) 給付事業

内容		決算額		
種別	単価(円)	件数	金額(円)	
結婚祝金	30,000	104	3,120,000	
出産祝金	30,000	131	3,930,000	
入学祝金	30,000	266	8,040,000	
義務教育修了祝金	30,000	126	3,780,000	
死亡見舞金		110	3,184,000	
内訳	本人	100,000	2	200,000
	被扶養者	70,000	4	280,000
	その他	26,000	104	2,704,000
傷病見舞金		24	760,000	
内訳	15日以上	20,000	10	200,000
	31日以上	40,000	14	560,000
災害見舞金		0	0	
内訳	全焼(壊)	100,000	0	0
	半焼(壊)	70,000	0	0
	その他	30,000	0	0
小計		761	22,814,000	
退会一時金	支給率で算出	794	90,665,271	
合計		1,555	113,479,271	

### (2) 貸付事業

内容		決算額		
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)	
生活資金		3	316,000	
内訳	5年未満	120,000	1	120,000
	5年以上	150,000	2	196,000
	10年以上	200,000	0	0
慶弔資金		250,000	1	250,000
医療資金		250,000	0	0
入学資金		3	1,049,000	
内訳	高校	250,000	0	0
	大学	500,000	3	1,049,000
罹災資金		500,000	0	0
合計		7	1,615,000	

### (3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5年	5,000	291	1,455,000
10年	10,000	178	1,780,000
15年	10,000	75	750,000
20年	15,000	40	600,000
25年	15,000	32	480,000
30年	20,000	13	260,000
35年	20,000	14	280,000
送料・挨拶状印刷費		-	151,000
合計		643	5,756,000

### (4) 文化体育事業

内容		決算額		
区分	補助額(円)等	件数	金額(円)	
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限3,000円	5,402	12,048,000	※1
映画鑑賞補助	費用の一部	6,993	996,800	
観劇補助	費用の一部	265	615,200	
プロ野球観戦補助	費用の一部	67	406,000	※2
Jリーグ観戦補助	費用の一部	11	11,000	
海浜プール利用補助	費用の一部	372	122,600	
日帰り旅行補助	費用の一部	2	4,000	
宿泊旅行補助	費用の一部	0	0	
その他補助	費用の一部	1,252	1,583,419	※3
合計		14,364	15,787,019	

※1 文化鑑賞引換券補助…12,048,000円のうち420,000円は、福岡市補助金収入を充当

※2 プロ野球観戦補助…R6年度64試合+R7年3月開催分3試合

※3 その他補助…がん健診費用助成、他入場券等購入補助

## 別表 1 2 生活福祉資金貸付事業

### (1) 貸付件数

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
福祉資金(福祉費)	79	11,392,000
福祉資金(緊急小口資金)	70	6,749,000
教育支援資金	390	158,093,000
総合支援資金	2	606,000
不動産担保型生活資金	3	41,636,000
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	544	218,476,000

### (2) 資金種別相談件数

資金種別	件数
福祉資金(福祉費)	1,000
緊急小口資金	1,044
教育支援資金	1,449
総合支援資金	229
不動産担保型生活資金	94
臨時特例つなぎ資金	3
その他(貸付対象に非該当など)	1,102
合計	4,921

## 別表 1 3 会務の運営

### (1) 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者等(人)
<第1回> 6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第2次資金収支補正予算案</li> <li>・ 令和5年度事業報告</li> <li>・ 令和5年度収支決算</li> <li>・ 令和6年度第1次資金収支補正予算案</li> <li>・ 職員の給与に関する規則の一部改正案</li> <li>・ 評議員選任・解任委員会委員の選任</li> <li>・ 令和6年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集</li> </ul>	理事12 監事2
<第2回> 8月19日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員候補者の選任</li> <li>・ 評議員選任候補者の推薦</li> <li>・ 決議の省略の方法による評議員会の招集</li> </ul>	理事14 監事2
<第3回> 1月10日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員候補者の選任</li> <li>・ 決議の省略の方法による評議員会の招集</li> </ul>	理事17 監事3
<第4回> 3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定款施行細則の一部改正案</li> <li>・ 職員就業規則の一部改正案</li> <li>・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正案</li> <li>・ 経理規程の一部改正案</li> <li>・ 委員会委員等の報酬に関する規程の一部改正案</li> <li>・ 役員等賠償責任保険の契約</li> <li>・ 令和7年度事業計画案</li> <li>・ 令和7年度資金収支予算案</li> <li>・ 評議員選任候補者の推薦</li> <li>・ 区担当理事の選定</li> <li>・ 理事候補者の選任</li> <li>・ 令和6年度第4回評議員会（臨時評議員会）の招集</li> </ul>	理事13 監事3

## (2) 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 定時評議員会 6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第2次資金収支補正予算案</li> <li>・ 令和5年度事業報告</li> <li>・ 令和5年度収支決算</li> <li>・ 令和6年度第1次資金収支補正予算案</li> </ul>	21 (理事2)
〈第2回〉 臨時評議員会 10月11日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員を選任</li> </ul>	27
〈第3回〉 臨時評議員会 2月21日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員を選任</li> </ul>	27
〈第4回〉 臨時評議員会 3月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員報酬等に関する規程の一部改正案</li> <li>・ 令和7年度事業計画案</li> <li>・ 令和7年度資金収支予算案</li> <li>・ 理事を選任</li> </ul>	17 (理事2)

## (3) 評議員選任・解任委員会の実施

決議があった日	内容等	出席者(人)または決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 9月6日	評議員の選任	5
〈第2回〉 3月19日	評議員の選任	5

## (4) 監査の実施

実施日	監査事項等	監事(人)
5月20日	業務執行の状況及び財産の状況を監査	3

## 別表 1 4 部会の開催

### (1) 地域福祉部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
<第1回> 5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 任期满了に伴う施設・団体助成事業運営委員会委員の推薦について</li> <li>・ 令和5年度赤い羽根共同募金のご報告</li> <li>・ 令和6年度「共同募金の使いみち」事例集作成にかかるご協力について</li> <li>・ 社会福祉施設と連携した福祉教育の展開に向けて</li> <li>・ 親なき後支援事業について</li> <li>・ 福岡市社協における被災地支援について</li> <li>・ 障害者差別解消法と合理的配慮について（福岡市出前講座）</li> </ul>	9
<第2回> 11月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度カイゴ・ミライスケッチコンクールの実施について</li> <li>・ 空家を活用した弁当宅配・居場所づくりの取組みについて</li> <li>・ 福岡市社会福祉協議会第6期地域福祉活動計画中間評価について</li> <li>・ 障がいのある方への理解が深まる講座等の実施について</li> </ul>	12
<第3回> 2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難行動要支援者名簿の制度と活用について（市民局地域防災課）</li> <li>・ ふくおかライフレスキュー事業について</li> <li>・ 地域での新たな取組み事例について（西区・中央区）</li> <li>・ 各種助成事業等について</li> <li>・ 各種出前講座について</li> </ul>	12

### (2) 民生委員児童委員部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
12月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡市社会福祉協議会第6期地域福祉活動計画中間評価について</li> </ul>	7

### (3) 施設部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
1月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度カイゴ・ミライスケッチコンクールの実施について</li> <li>・ 第65回大都市社会福祉施設協議会（北九州市大会）第2回運営協議会の報告について</li> <li>・ 福岡市社会福祉協議会第6期地域福祉活動計画中間評価について</li> <li>・ 情報交換</li> </ul>	15

(4) 各区運営部会

区	開催日	内容（議題）	参加者 （人）
東	5月16日	・副部会長の選任について ・令和5年度事業報告・決算について	15
	2月7日	・令和7年度事業計画・予算について ・定例の区運営部会開催方法等の見直しについて	17
博多	5月16日	・令和5年度事業報告・決算について	13
	2月10日	・令和7年度事業計画・予算について ・定例の区運営部会開催方法等の見直しについて	19
中央	5月16日	・副部会長の選任について ・令和5年度事業報告・決算について	12
	2月	・令和7年度事業計画・予算について（書面開催）	14
南	5月14日	・令和5年度事業報告・決算について	15
	2月6日	・令和7年度事業計画・予算について ・定例の区運営部会開催方法等の見直しについて	16
城南	5月14日	・副部会長の選任について ・令和5年度事業報告・決算について	13
	8月	・部会長の選任について（書面開催）	19
	2月	・令和7年度事業計画・予算について（書面開催）	19
早良	5月17日	・令和5年度事業報告・決算について	15
	2月	・令和7年度事業計画・予算について（書面開催）	14
西	5月13日	・令和5年度事業報告・決算について	15
	2月	・令和7年度事業計画・予算について（書面開催）	18